

土木学会 東日本大震災被害調査団一覧 (67 調査団)

(平成 24 年 2 月 22 日現在)

連番	No.	調査団の名称	調査時期	代表者	連絡代表者 (メール)	主な調査項目	主な調査地点
1	1-1	津波痕跡調査第一期調査団	3/25～4/3	佐藤慎司 (東大)	田島芳満 (東大) yoshitaj@ coastal.t.u-tokyo.ac.jp	沿岸の津波浸水範囲、浸水高さ、遡上高さの計測	宮城県、岩手県の津波氾濫地域
2	1-2	津波痕跡調査第二期調査団	4/1～4/10	原田賢治 (埼玉大) 鳴原良典 (防衛大)	佐藤慎司 (東大) sato@ civil.t.u-tokyo.ac.jp	沿岸の津波浸水範囲、浸水高さ、遡上高さの計測	宮城県、岩手県の津波氾濫地域
3	1-3	津波痕跡調査第三期調査団	4/9～4/14	佐藤慎司 (東大)	田島義満 (東大) yoshitaj@ coastal.t.u-tokyo.ac.jp	沿岸の津波浸水範囲、浸水高さ、遡上高さの計測	岩手県 陸前高田、大船渡、釜石、大槌など
4	1-4	津波調査団 (福島県)	H24.2.6～2.7	佐藤慎司 (東大)	田島義満 (東大) yoshitaj@ coastal.t.u-tokyo.ac.jp	警戒区域内の沿岸の津波浸水範囲、浸水高さ、遡上高さの計測	福島県の警戒区域内の津波氾濫地域
5	2	構造工学委員会東北関東大震災調査団	3/28～4/10 (第一次)	鈴木基行 (東北大)	岩城一郎 (日大) iwaki@ civil.ce.nihon-u.ac.jp	道路橋、鉄道橋をはじめとするコンクリート構造および鋼構造に対する被災状況	(第一次) 東北自動車道、国道 4 号線、東北新幹線、東北本線周辺の内陸部を中心
6	3-1	コンクリート委員会調査団 (岩手県内コンクリート構造物被害調査チーム)	3/24～3/27	三木朋広 (神戸大)	上原子晶久 (弘前大) kami@ cc.hirosaki-u.ac.jp	新幹線、在来線、高速道路、一般道路を中心とした交通インフラ系コンクリート構造物の被害状況	主に盛岡から一ノ関間において、東北新幹線、東北本線、東北自動車道、国道 4 号に沿った地域
7	3-2	コンクリート委員会調査団 (宮城県内コンクリート構造物被害調査チーム)	3/27～3/28	皆川浩 (東北大)	同左 minagawa@ civil.tohoku.ac.jp	新幹線、在来線、高速道路、一般道路を中心とした交通インフラ系コンクリート構造物の被害状況	仙台周辺における、東北新幹線、仙台市営地下鉄、東北自動車道、仙台東部道路、国道 4 号の構造物調査
8	3-3	コンクリート委員会調査団 (福島県内コンクリート構造物被害調査チーム)	3/29～3/30	岩城一郎 (日大)	同左 iwaki@	新幹線、在来線、高速道路、一般道路を中心とした交通インフラ系コンクリート構造物の被害状況	郡山市から福島市周辺における、東北新幹線、県道、国

連番	No.	調査団の名称	調査時期	代表者	連絡代表者（メール）	主な調査項目	主な調査地点
		造物被害調査チーム)			civil.ce.nihon-u.ac.jp	ンフラ系コンクリート構造物の被害状況	道の構造物調査
9	4-1	東北関東大震災被害調査団 (地震工学委員会) 協力：地盤工学会	構造物グループ 3/29～4/3 地盤グループ 3/27～3/31	川島一彦 (東工大)	同左 kawashima.k.ae@ m.titech.ac.jp	液状化や地盤破壊の実情、これらが構造物に与えた影響、旧耐震基準で造られた構造物やこれを耐震補強した構造物、新耐震基準で造られた構造物の被害特性、初動として被害の概況調査	宮城県、岩手県南部の地震動および津波による被害地域
10	4-2	地震防災技術普及小委員会 (地震工学委員会) 被害調査団	6/23～6/24	木全宏之 (清水建設)	渡辺和明 (大成建設) kwatanab@ ce.taisei.co.jp	地震防災技術の普及の観点からの被災状況調査	仙台市周辺、宮城県北部、沿岸部 (大船渡、陸前高田、気仙沼、南三陸、石巻、多賀城)
11	5-1	第一次総合調査団	4/1～4/7 (先行派遣 3/27～3/30)	阪田憲次 (会長)	家田 仁 (東大) ieda@ civil.t.u-tokyo.ac.jp	被災状況の総合的理解と今後への対応策への視点・課題の獲得	被災地全般
12	5-2	第一次総合調査団 臨時調査	4/11～4/12	家田 仁 (東大)	布施孝志 (東大) fuse@ civil.t.u-tokyo.ac.jp	海岸地域踏査による総合調査	福島県広野町～茨城県日立市に至る海岸地域
13	6-1	地盤工学委員会 (斜面工学研究小委員会)	3/30～3/31	後藤 聡 (山梨大)	同左 goto@ yamanashi.ac.jp	平成 23 年 3 月 12 日に発生した長野県北部地震における現地調査 (斜面崩壊、土石流、地すべり災害等)	長野県栄村、新潟県津南町、その他

連番	No.	調査団の名称	調査時期	代表者	連絡代表者（メール）	主な調査項目	主な調査地点
14	6-2	地盤工学委員会（斜面工学研究小委員会）	5/6～5/8	後藤 聡 （山梨大）	同左 goto@ yamanashi.ac.jp	福島県、栃木県で発生した斜面災害（斜面崩壊、土石流、地すべり災害等）の現地調査	福島県白河地区（①小峰城石垣崩壊、②葉ノ木平崩壊、③白沢崩壊、④岡ノ内崩壊、大信隈戸上小屋と同じ箇所、⑤須賀川市藤沼ダム、他） 福島県いわき地区（⑥井戸沢断層（活断層 7箇所、崩壊 1箇所）、⑦湯ヶ岳断層（活断層 5箇所）、⑧常磐道山田切土崩壊、⑨鮫川河口津波被害、他） 栃木県那須地区（⑩那珂川町押野、⑪那須烏山市川向、他）
15	6-3	地盤工学委員会（斜面工学研究小委員会）	5/27	後藤 聡 （山梨大）	同左 goto@ yamanashi.ac.jp	平成 23 年 3 月 1 2 日に発生した長野県北部地震における斜面災害の現地調査	津南町小池沢、十日町市中尾、津南町辰ノ口、他
16	7	水工学委員会東北関東大震災調査団	4/1～5/31（予定）	田中 仁 （東北大）	関根正人（早大） sekine@ waseda.jp	津波の河川遡上と氾濫に関する現象、津波遡上・氾濫による河川堤防の被災、斜面崩壊・土砂災害など、漂流物による河川構造物被害、家屋流失の水工学的検討（家屋流失限界、防潮林などの植生の減災効果）、避難システム・避難の実態と教訓	岩手・宮城・福島・茨城・千葉各県ならびに北海道太平洋沿岸の津波被災地、これらの地域を流れる河川の堤防ならびに流域内の浸水区域
17	8-1	土木計画学研究委員会東日本大震災特別小委員会 経済評価・防災計画班	4/9～4/11	岡田憲夫 （京大）	多々納裕一（京大） tatano@ imdr.dpri.kyoto-u.ac. jp	生活基盤（住宅、ライフライン等）被災状況、生産基盤の被災状況、生業・生活・安全の復興可能性に関する総合的検討の第 1 次踏査	一関、気仙沼、陸前高田、大船渡、釜石、大槌、山田、宮古

連番	No.	調査団の名称	調査時期	代表者	連絡代表者（メール）	主な調査項目	主な調査地点
18	8-2	土木計画学研究委員会東日本大震災特別小委員会 交通システム班 空港・港湾グループ	4/24～4/27	岡本直久 (筑波大)	同左 okamoto@ sk.tsukuba.ac.jp	空港・港湾施設の被災とその復旧過程の掌握	塩釜港、仙台市内物資拠点、花巻空港、石巻港、女川港および宮城県物流拠点、岩手県物流拠点、宮古港、釜石港、大船渡港、仙台空港
19	8-3	土木計画学研究委員会東日本大震災特別小委員会 鉄道班	5/14～5/15	兵藤哲朗 (東京海洋大)	同左 hyodo@ kaiyodai.ac.jp kaiyodai.ac.jp	三陸鉄道沿線の被害状況把握と市街地整備と一体化した復興可能性調査	三陸鉄道沿線視察および三陸鉄道会へのヒアリング
20	9-1	関東支部 新潟・長野県境震災調査チーム	3/30～5/30	阿部和久 (新潟大)	同左	道路被害、地すべり、雪崩	長野県栄村、新潟県十日町
21	9-2	関東支部 千葉地域震災調査チーム	3/30～4/30	落合 実 (日大)	同左	道路被害、地盤液化化状況、海岸線および海岸構造物被害	千葉市幕張地区他、浦安地区、旭地区、九十九里地区、銚子地区 ほか
22	9-3	関東支部 茨城・栃木地域震災調査チーム (茨城)	4/1～5/31	安原一哉 (茨城大)	藤田昌史 (茨城大) fujita@ mx.ibaraki.ac.jp	1. 沿岸域調査 (津波、液化化、地盤沈下、土地被覆、上下水道、水質など) 2. 道路・橋梁調査 (桁落下、路面段差、支承部の破損、落橋防止装置の破損など) 3. 住宅地調査 (液化化、段差、地盤沈下、倒壊など) 4. 河川堤防 (液化化、変状など)	1. 沿岸域調査 ・大洗町、日立市、北茨城市 2. 道路・橋梁調査 ・水戸市、那珂市、常陸太田市、高萩市、つくば市、筑西市、行方市、ほか 3. 住宅地調査 ・日立市、龍ヶ崎市、我孫子市布佐 4. 河川堤防 ・利根川 (取手周辺)、小貝川 (藤代周辺)
23	9-4	関東支部 茨城・栃木地域震災調査チーム (栃木)	4/4～4/30	中島章典 (宇都宮大)	同左 akinorin@ cc.utsunomiya-u.ac.jp	道路構造、地盤構造、橋梁構造の被害状況	栃木県内

連番	No.	調査団の名称	調査時期	代表者	連絡代表者（メール）	主な調査項目	主な調査地点
24	10-1	東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ（東大柏班）	4/2～4/3	磯部雅彦（東大）	同左 isobe@k.u-tokyo.ac.jp	津波による浸水域、被災状況	九十九里からいわきに至る海岸
25	10-2	東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ（東大柏班）	4/15～4/19	磯部雅彦（東大）	同左 isobe@k.u-tokyo.ac.jp	津波による浸水域、被災状況	八戸から相馬に至る海岸
26	10-3	東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ	4/14～4/17	高橋智幸（関西大）	同左 tomot@kansai-u.ac.jp	浸水域	宮城県気仙沼市
27	10-4	東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ（横浜国大）	4/13～4/17	佐々木淳（横浜国大）	同左 jsasaki@ynu.ac.jp	津波浸水高、遡上高の計測、およびコンクリート構造物等の被災状況の把握	八戸、久慈、宮古、陸前高田、気仙沼、女川、仙台周辺
28	10-5	東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ	5/19～5/22	高橋智幸（関西大）	同左 tomot@kansai-u.ac.jp	浸水域	岩手県釜石市
29	10-6	東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ（早大）	6/9～6/10	柴山知也（早稲田大）	大谷 彬（早稲田大） ak.ohtani@gmail.com	痕跡高調査、海岸構造物被災調査	釜石、大船渡、気仙沼、気仙沼、南三陸
30	10-7	東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ（東工大）	6/12	灘岡和夫（東工大）	灘岡和夫（東工大） nadaoka@mei.titech.ac.jp	津波遡上・浸水高	南相馬市（福島原発 20～30km 圏）を中心とした福島県北部沿岸域
31	11-1	東日本大震災 東北学術調査委員会（第Ⅱ部門）	4/16～4/17	田中規夫（埼玉大）	同左	福島県南部および茨城県北部における 1 級、2 級河川の津波遡上調査に伴う河川堤防・構造物の被害調査、および海岸域における樹林帯、家屋流失に関する調査	茨城県北部（日立市、高萩市、北茨城市）から福島県南部（いわき市勿来町から四倉町まで北上）
32	11-2	東日本大震災 東北学術調査委員会（第Ⅱ部門）	4/27～4/29	田中規夫（埼玉大）	同左	福島県北部および宮城県南部における 1 級、2 級河川の津波遡上に伴う河川堤防・構造物の被害調査、および海岸域における樹林帯、家屋流失に関する調査	福島県北部（相馬市）から宮城県南部（山元町、亘理町、岩沼市、名取市、仙台市）

連番	No.	調査団の名称	調査時期	代表者	連絡代表者（メール）	主な調査項目	主な調査地点
33	11-3	東日本大震災 東北学術調査委員会（第Ⅱ部門）	4/14～4/16	菅和利 （芝浦工大）	同左	津波河川遡上、堤防被害	気仙川（気仙沼、陸前高田）、志津川（南三陸町）、旧北上川、北上川
34	11-4	東日本大震災 東北学術調査委員会（第Ⅱ部門）	4/18～4/28	長林久夫 （日大）	同左	福島県2級河川における河口地形変化、落橋、破堤、津波遡上の調査	福島県いわき建設事務所、夏井川、夏井・四ツ倉海岸、藤原川、鮫川、福島県相双建設事務所、松川浦、宇多川
35	11-5	東日本大震災 東北学術調査委員会（第Ⅱ部門）	4/8～4/23	田中 仁 （東北大）	同左	宮城県1級、2級河川における河口地形変化、落橋、破堤、津波遡上の調査	旧北上川、定川、鳴瀬川、吉田川、七北田川、砂押川、名取川、増田川、阿武隈川、気仙沼大川、気仙川
36	11-6	東日本大震災 東北学術調査委員会（第Ⅱ部門）	4/26～4/28	中川 一 （京大）	同左	宮城県及び岩手県1級、2級河川における河口地形変化、落橋、破堤、津波遡上の調査	旧北上川、北上川、定川、気仙沼大川、気仙川、鳴瀬川、吉田川
37	11-7	東日本大震災 東北学術調査委員会（第Ⅱ部門）	4/8～4/24	佐々木幹夫 （八戸工大）	同左	青森県および岩手県1級、2級河川における河口地形変化、落橋、破堤、津波遡上の調査	新井田川、馬淵川、奥入瀬川、五戸川、久慈川、宇部川、安家川、普代川、平井賀川、小本川、接待川、長内川、田老川、閉井川、津軽石川、関口川、折笠川、波板海岸、大槌川、鶴住居川、小海川、大渡川、波板海岸、大槌川、鶴住居川、小海川、大渡川
38	11-8	東日本大震災 東北学術調査委員会（第Ⅱ部門）	4/24	南将人 （八戸高専）	同左	岩手県における津波浸水高さ と遡上の調査	久慈市久慈川、野田村宇部川
39	12-1	海洋開発委員会－ASCE-SEI 合同調査（第1班）	4/16～4/24	柴山知也 （早稲田大）	同左 shibayama@waseda.jp	津波および瓦礫による構造物への影響	久慈、宮古、宮古市田老地区、釜石、大槌、陸前高田、大船渡、気仙沼、南三陸、石巻、女川、仙台、塩竈、仙台港、名取、仙台空港

連番	No.	調査団の名称	調査時期	代表者	連絡代表者（メール）	主な調査項目	主な調査地点
40	12-2	海洋開発委員会－ASCE-COPRI 合同調査（第2班）	4/25～5/1	柴山知也（早稲田大）	同左 shibayama@waseda.jp	津波による沿岸施設への影響	仙台港、名取川周辺、石巻、女川、南三陸、気仙沼、陸前高田、大船渡、釜石、宮古、久慈、鴨川、勝浦、いすみ、鹿島
41	12-3	海洋開発委員会－ASCE-COPRI 合同調査（第3班、チームA&B）	5/11～5/18	菅野高広（港湾空港技術研究所）	同左 macsuga@sea.plala.or.jp	港湾施設を中心に、港湾施設被害・沿岸部コンビナート・石油精製施設等・緊急時対応・復旧方針・荷役機械等に関する調査	相馬港、チームA：松島・石巻・女川、仙台港・高砂、気仙沼港・MOT、釜石港・大槌町、八戸港・JON 八戸油槽所、チームB：JX 日鉱日石仙台製油所、仙台港・高砂、塩釜石油精製工場（予定）、大船渡港、宮古港、久慈港
42	12-4	海洋開発委員会－ASCE-COPRI 合同調査（第3班 チームC&D）	5/18～5/24	山崎浩之（港湾空港技術研究所）	菅野高広（港湾空港技術研究所） macsuga@sea.plala.or.jp	港湾施設を中心に、港湾施設被害・耐震設計・性能設計等に関する調査	チームC：千葉・鹿島方面、大洗港・常陸那珂港、大津港・小名浜港、相馬港、仙台港、女川港、チームD：旭・銚子、銚子港・鹿島港、大津港・小名浜港、相馬港、仙台港、石巻港
43	12-5	海洋開発委員会－ASCE-COPRI 合同調査（第4班）	5/10～5/18	高橋重雄（港湾空港技術研究所）	鈴木高二郎（港湾空港技術研究所） suzuki_k@pari.go.jp	岩手・宮城両県の港湾施設並びに防波堤の被災状況	久慈、野田、田老、宮古、大槌、唐丹、気仙沼、南三陸、女川、石巻、野蒜
44	13-1	東京海洋大学・ジョージア工科大学調査団	4/22～4/25	岡安章夫（東京海洋大）	下園武範（東京海洋大） shimo@kaiyodai.ac.jp	津波浸水・遡上高さの調査	女川近辺、越喜来湾周辺、吉浜湾周辺
45	13-2	東京海洋大学・ジョージア工科大学調査団	6/10～6/14	岡安章夫（東京海洋大）	下園武範（東京海洋大） shimo@kaiyodai.ac.jp	津波被災地の地形測量	牡鹿半島寄磯浜、陸前高田市、釜石市、気仙沼市、大船渡市

連番	No.	調査団の名称	調査時期	代表者	連絡代表者（メール）	主な調査項目	主な調査地点
46	14	東北地方太平洋沖地震 東京大学 津波・構造物合同調査グループ	4/29～5/1	本田利器 （東大）	石田哲也（東大） tetsuya.ishida@ civil.t.u-tokyo.ac.jp	仙台近郊および南三陸地域の被災状況	多賀城、女川、志津川、大槌町、釜石
47	15	地域基盤再構築に関する日本都市計画学会・土木学会連携委員会（第二次総合調査団）	4/29～5/7	岸井隆幸 （日本大学）	家田 仁（東大） ieda@ civil.t.u-tokyo.ac.jp	被災地域の復興方策について、生活再建、生業再建、安全再建の視点から総合的に調査分析するための実情調査	宮城県、岩手県をそれぞれ地域別・分野別の班に分かれて調査、 宮城県庁訪問、ヒアリング、仙南（名取）班-現地調査、石巻班-現地調査、南三陸班-現地調査、仙南（名取）班-名取市役所訪問、石巻班-石巻市役所訪問、南三陸班-南三陸町訪問、仙南（名取）班-現地調査、石巻班-石巻商工会議所訪問、南三陸班-現地調査、岩手県ならびに UR 訪問、ヒアリング、陸前高田班-現地調査、大船渡班-現地調査、宮古班-現地調査、陸前高田班-陸前高田市役所訪問、大船渡班-大船渡市役所訪問、宮古班-宮古市役所訪問、陸前高田班-現地調査、大船渡班-現地調査、宮古班-現地調査
48	16-1	土木専門家情報センターおよび復興施工技術特定テーマ合同調査団	5/7～5/10	山本卓朗 （鉄建建設）	古木守靖（土木学会） furuki@ jsce.or.jp	被災地の調査、主な自治体訪問、支援内容の説明と関係者との意見交換	釜石、大船渡調査、大船渡市長訪問、気仙沼調査、石巻、多賀城、仙台港、名取、亘理、山元調査、東北支部、日建連訪問、東北地方整備局局長訪問、宮城県土木部長訪問、宮古市視察、岩手県土整備部長訪問



連番	No.	調査団の名称	調査時期	代表者	連絡代表者（メール）	主な調査項目	主な調査地点
49	16-2	復興施工技術特定テーマ委員会 幹事調査団	5/16～5/17	吉田 明 (大成建設)	同左 yoshida-a@ ce.aisei.co.jp	「がれき処理」と「土壌地下水浄化」に関する自治体の現状とニーズ	岩手県 宮古市、盛岡市、宮城県 仙台市
50	16-3	復興施工技術特定テーマ委員会 仙台市ヒアリング調査団	6/9	坂本俊一 (清水建設)	同左 shn.sakamoto@ shimz.co.jp	「がれき処理」と「土壌地下水浄化」に関する仙台市の現状とニーズ	仙台市(都市整備局、環境局)
51	16-4	復興施工技術特定テーマ委員会 仙台市環境局往訪調査団	6/22	佐藤和郎 (大成建設)	同左 kazuro-s@ ce.aisei.co.jp	津波堆積土砂の盛土材料としての利用可能性を把握するための試験計画の仙台市への説明、了解後、現地での試料採取	仙台市（環境局）
52	16-5	復興施工技術特定テーマ委員会 仙台市環境局往訪調査団	7/11	佐藤和郎 (大成建設)	同左 kazuro-s@ ce.aisei.co.jp	室内品質（力学特性）試験結果の仙台市への報告、盛土試験計画書の説明、現地試験施工場所の選定確認	仙台市（環境局）
53	16-6	復興施工技術特定テーマ委員会 仙台市若林区井土地区処分場（2次仮置き場）往訪 調査団	7/20	佐藤和郎 (大成建設)	同左 kazuro-s@ ce.aisei.co.jp	市街地から発生した津波堆積分級土砂を用いた試験盛土施工(8月1日～4日)の事前打合せ	宮城県仙台市若林区井土地区処分場（2次仮置き場）
54	17	東日本大震災津波避難合同調査団（山田町）	5/4～9/30	中林一樹 (明治大)	後藤洋三（東大） gotoyozo@ mti.biglobe.ne.jp	自治体、消防団、警察などからの証言に加え、生存者から、情報の取得、避難の意志決定、避難行動の経緯などアンケートと聞き取り調査。事前調査を5月上旬、本調査を現地の仮設住宅の入居時期（5月末以降）に合わせて実施。	予備調査:山田町役場との打ち合わせ。山田町内踏査 本調査:5月下旬以降、山田町役場と打ち合わせの上決定。
55	18	徳島大学環境防災研究センター	5/4～5/6	中野 晋 (徳島大)	同左 nakano@ ce.tokushima-u.ac.jp	津波痕跡高調査, 津波堆積物調査	南三陸町、気仙沼市周辺、宮古市周辺、大船渡市、釜石市周辺

連番	No.	調査団の名称	調査時期	代表者	連絡代表者（メール）	主な調査項目	主な調査地点
56	19	「我が国の最新技術を活用した耐災（防災・減災）統合システム」調査団（第三次総合調査団）	6/9～6/11	川嶋弘尚 （慶応大学）	牧野浩志（東大） makino@ iis.u-tokyo.ac.jp	計測・警報などの情報通信技術、津波や建造物の解析・シミュレーション技術、空間情報処理技術、クルマの利用環境、ITS、パーソナルな情報デバイスなど耐災に向けたニーズ調査	宮城県、岩手県沿岸部および仙台市内、関東地域など
57	20-1	復興創意形成特定テーマ委員会調査団	6/16～6/17	野崎秀則 （オリエンタルコンサルタンツ）	高橋元太（建設コンサルタンツ協会） takahashi@ jcca.or.jp	計画策定過程における適切な合意形成方法等に関する提言内容に関するヒアリング調査	市町村の実務担当者、東北地方整備局、岩手県、宮城県
58	20-2	復興創意形成特定テーマ委員会調査団	11/14～11/25	野崎秀則 （オリエンタルコンサルタンツ）	高橋元太（建設コンサルタンツ協会） takahashi@ jcca.or.jp	計画策定過程における適切な合意形成方法等に関する提言内容に関する追加ヒアリング調査	石巻市、宮古市、名取市、南三陸町
59	20-3	復興創意形成特定テーマ委員会調査団	H24.2/22～23	野崎秀則 （オリエンタルコンサルタンツ）	高橋元太（建設コンサルタンツ協会） takahashi@ jcca.or.jp	計画策定過程における適切な合意形成方法等に関する提言内容に関する追加ヒアリング調査	大船渡市、陸前高田市
60	21	千葉県内下水道関連施設被害調査団	6/30	佐藤弘泰 （東大）	佐藤弘泰（東大） hiroyasu@ k.u-tokyo.ac.jp	関東地方整備局、千葉県、浦安市・習志野市の担当者にヒアリング	千葉県内における下水道施設
61	22	米国土木学会 東北太平洋沖地震災害 ライフライン調査団（ASCE-TCLEE）	6/13～6/20	小長井一男 （東大）	小長井一男（東大）	被災地におけるライフラインの状況	宮城県庁、岩手県庁、仙台市ガス局、東北電力、多賀城市、釜石市、大船渡市、東北地方整備局、仙台市、仙台空港、浦安市など
62	23	PICE 調査団	7/7～7/11	伊東 淳 （早稲田大）	同左 itohjun@ waseda-se.jp	岩手・宮城両県の沿岸部の建造物被害の被災状況調査	釜石、大船渡、陸前高田、気仙沼、南三陸、石巻、女川、仙台、塩竈、仙台港、名取、亘理など

連番	No.	調査団の名称	調査時期	代表者	連絡代表者（メール）	主な調査項目	主な調査地点
63	24	支部連合調査団	7/19～7/22	林 良嗣 (名大)	大西博文（土木学会） ohnishi@jsce.or.jp	各支部・地域の特性を踏まえた、被災地での被災状況、復興に向けた取り組み、課題等の把握	土木学会 東北支部、東北地方整備局、気仙沼市役所、陸前高田市復興対策局、大船渡市役所、岩沼市役所
64	25	鋼構造委員会東日本大震災鋼構造物調査特別委員会調査団	8/11～8/12	高木千太郎 (東京都道路整備保全公社)	中沢正利（東北学院大） naka@tjcc.tohoku-gakuin.ac.jp	被災した鋼構造物の現状、周囲の状況等の調査、被災シナリオの想定。特に、落橋防止構造や伸縮装置、支承などの被災状況の現況確認	仙台市内 JR 東日本高架橋（新幹線）、NEXCO 東日本東部道路、新北上大橋、水尻橋（南三陸町南部）、歌津大橋、二十一浜橋、外尾川橋、小泉大橋（以上、南三陸町北部）、気仙大橋、姉齒橋、沼田跨線橋（以上、陸前高田）、大船渡
65	26	コンクリート委員会「津波による橋梁構造物に及ぼす波力の評価に関する調査研究委員会」調査団	8/22～10/21	細田 暁 (横浜国大)	田中泰司（長岡技術科学大） yasuxi@vos.nagaokaut.ac.jp	津波によって流失した橋梁の被害の程度、橋梁諸元	野田村、田野畑村、田老町、宮古市、山田町、大槌町、平田駅周辺、陸前高田市、気仙沼市、大船渡市、歌津地区、志津川、陸前戸倉、北上川河口、女川市、石巻市
66	27	原子力安全土木技術特定テーマ委員会調査団	11/14	吉田郁政 (東京都市大学)	松尾豊史（電力中央研究所） matsuo@criepi.denken.or.jp	東北電力(株)女川原子力発電所構内の被災事例（1号機重油タンクの倒壊）、特に、耐震安全上重要な土木設備（取水口、取水路、海水ポンプ室など）、一般の土木設備（構内道路、港湾設備など）の被災状況	女川原子力発電所、女川町、石巻（日和山）
67	28	複合構造委員会東日本大震災被害調査小委員会調査団	H24.2/2～2/3	杉浦 邦征 (京大)	滝本 和志（清水建設） k.takimoto@shimz.co.jp	道路、鉄道、港湾構造物のうち、複合構造物を中心とした被害・現状調査	仙台駅、北山駅、長町駅の各駅周辺、仙台東部道路、古川、築館の各 IC 付近の橋梁

調査団名称	津波痕跡調査第1期調査団				
主な調査項目	沿岸の津波浸水範囲、浸水高さ、遡上高さを計測する。				
主な調査地点	宮城県、岩手県の津波氾濫地域				
調査期間	平成23年 3月 25日 ~ 平成23年 4月 3日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	佐藤慎司	東京大学	海岸工学		
連絡代表者	田島芳満	東京大学	海岸工学	<a href="mailto:yoshitaj@coastal.t.u-tokyo.ac.jp">yoshitaj@coastal.t.u-tokyo.ac.jp</a>	
会計責任者	田島芳満	東京大学	海岸工学		
団員	柴山知也	早稲田大学	海岸工学		
	藤間功司	防衛大学校	海岸工学		
	岡安章夫	東京海洋大学	海岸工学		
	下園武範	東京海洋大学	海岸工学		
	佐々木淳	横浜国立大学	海岸工学		
	鈴木崇之	横浜国立大学	海岸工学		
	鷺崎 誠	港湾空港技術研究所	海岸工学		
	有川太郎	港湾空港技術研究所	海岸工学		
	西村、中村	北海道大学	海岸工学		
	Miguel Esteban	早稲田大学	海岸工学		
	高木泰士	早稲田大学	海岸工学		
	三上貴仁	早稲田大学	海岸工学		
	松丸亮	早稲田大学	海岸工学		
	早野 公敏	横浜国立大学	海岸工学		
	作中 淳一郎	港湾空港技術研究所	海岸工学		
	平石 哲也	京都大学防災研	海岸工学		
	米山 望	京都大学防災研	海岸工学		
	馬場 康之	京都大学防災研	海岸工学		
	東 良慶	京都大学防災研	海岸工学		
	間瀬肇	京都大学防災研	海岸工学		
	森信人	京都大学防災研	海岸工学		
	安田 誠宏	京都大学防災研	海岸工学		
	劉 海江	東京大学	海岸工学		
高川智博	東京大学	海岸工学			

調査団名称	津波痕跡調査第2期調査団					
主な調査項目	沿岸の津波浸水範囲、浸水高さ、遡上高さを計測する。					
主な調査地点	宮城県、岩手県の津波氾濫地域					
調査期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成23年 4月 10日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	原田賢治	埼玉大学				
//	嶋原良典	防衛大学校	海岸工学	shigi@nda.ac.jp, yshigjip@gmail.com		
連絡代表者	佐藤慎司	東京大学	海岸工学			
会計責任者	森信人	京都大学	海岸工学			
団員	長谷部雅伸	清水建設株式会社 技術研究所	海岸工学			
	有田 守	大阪大学大学院	海岸工学			
	大久保陽介	パシフィックコンサルタンツ(株)大阪本社	海岸工学			
	永澤 豪	パシフィックコンサルタンツ(株)港湾部	海岸工学			
	岡田清宏	パシフィックコンサルタンツ(株)九州支社	海岸工学			
	丹羽竜也	パシフィックコンサルタンツ(株)港湾部	海岸工学			
	川崎浩司	名古屋大学	海岸工学			
	李 光浩	名古屋大学	海岸工学			
	中村友昭	名古屋大学	海岸工学			
	鈴木進吾	京都大学防災研究所	海岸工学			
	柿沼太郎	鹿児島大学	海岸工学			
	辻本剛三	神戸市立工業高等専門学校	海岸工学			
	安田誠宏	京都大学防災研究所	海岸工学			
	玉田 崇	いであ(株)	海岸工学			
	榊山 勉	電力中央研究所	海岸工学			
	吉井 匠	電力中央研究所	海岸工学			
	庄司 学	筑波大学大学院	海岸工学			
	榎田真也	金沢大学	海岸工学			
備考						

















## 東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年6月10日

調査団名称	地震防災技術普及小委員会(地震工学委員会)の被害調査団				
主な調査項目	地震防災技術の普及の観点より、まずは東日本大震災の被災状況を調査する。そして、現地調査に基づいて小委員会内部で震災の状況(施設の破壊規模と範囲、撤去や復旧作業等)について議論を行い、今後の技術普及小委員会としての活動(耐震セミナー、被災地学習見学会など)に反映させる。なお、調査に当たっては、東北学院大学の吉田教授を講師としてお招きし、講義と指導および現地での案内をお願いする。				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	6/23(木) 仙台市周辺の調査 仙台駅→東北学院大学(吉田先生との合流) →仙台港→仙台空港→名取周辺→仙台市宅地被害箇所 →調査終了後、宿泊先の水沢に移動 (吉田教授を交えた議論) 6/24(金) 宮城県北部、沿岸部の調査 水沢→大船渡→陸前高田→気仙沼→南三陸→石巻→多賀城 →仙台駅				
調査期間	平成23年6月23日 ~ 平成23年6月24日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	木全 宏之	清水建設(株)	耐震, 岩盤力学		
連絡代表者	渡辺 和明	大成建設(株)	耐震, 地震防災	kwatanab@ce.aisei.co.jp	
会計責任者	木全 宏之	清水建設(株)	耐震, 岩盤力学		
団員	濱野 雅裕	(株)エイト日本技術開発	耐震, 動土質力学		
	樋口 俊一	(株)大林組	耐震, 動土質力学		
	青地 知也	(株)開発工営社	耐震, 橋梁設計		
	伊藤 孝司	パシフィックコンサルタンツ(株)	耐震, 地震防災		
	坂上 明	(株)奥村組	耐震		
	溜 幸生	東電設計(株)	耐震, 動土質力学		
	大竹 省吾	(株)オリエンタルコンサルタンツ	耐震		
	中山 学	(独)防災科学技術研究所	耐震, 動土質力学, 地震防災		
	泉 博允	成和コンサルタント(株)	耐震		
	大野 春雄	建設教育研究推進機構	耐震, 地震防災, 防災教育		
	田蔵 隆	清水建設(株)	耐震, 動土質力学		
外部講師	吉田 望	東北学院大学	耐震, 動土質力学		
備考					



東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年4月11日

調査団名称	総合調査団 臨時調査				
主な調査項目	・海岸地域踏査による総合調査				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	【調査地点】 ・福島県広野町～茨城県日立市に至る海岸地域				
調査期間	平成23年 4月 11日 ~ 平成23年 4月 12日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	家田 仁	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻			
連絡代表者	布施 孝志	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻		<a href="mailto:fuse@civil.t.u-tokyo.ac.jp">fuse@civil.t.u-tokyo.ac.jp</a>	
会計責任者	羽藤 英二	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻			
団員	中井 祐	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻			
	尾崎 宏喜	(社)土木学会			
	備考				





東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年5月2日

調査団名称	地盤工学委員会(斜面工学研究小委員会)					
主な調査項目	福島県、栃木県で発生した斜面災害(斜面崩壊、土石流、地すべり災害等)の現地調査					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	5月6日(金) 福島県白河地区を予定 ①小峰城石垣崩壊 ②葉ノ木平崩壊 ③白沢崩壊 ④岡ノ内崩壊、大信隈戸上小屋と同じ箇所 ⑤須賀川市藤沼ダム、他 5月7日(土)福島県いわき地区を予定 ⑥井戸沢断層(活断層7箇所、崩壊1箇所) ⑦湯ヶ岳断層(活断層5箇所) ⑧常磐道山田切土崩壊 ⑨鮫川河口津波被害、他 5月8日(日)栃木県那須地区を予定 ⑩那珂川町押野 ⑪那須烏山市川向、他					
調査期間	平成23年5月6日 ~ 平成23年5月8日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	後藤 聡	山梨大学	地盤防災、地盤工学			
連絡代表者	後藤 聡	同上	地盤防災、地盤工学	<a href="mailto:goto@yamanashi.ac.jp">goto@yamanashi.ac.jp</a>		
会計責任者	後藤 聡	同上				
団員	稲垣秀輝	環境地質	環境地質			
	櫻井正明	山地防災研究所	砂防、森林防災			
	上野将司	応用地質	斜面防災、地質			
	伊藤和也	労働安全衛生総合研究所	安全工学、地盤工学			
	小川紀一郎	アジア航測	砂防			
	平田 文	日特建設	斜面防災、地質			
	向谷光彦	香川高等専門学校	地盤工学, ため池			
備考						

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年5月25日

調査団名称	地盤工学委員会(斜面工学研究小委員会)				
主な調査項目	平成23年3月12日に発生した長野県北部地震における斜面災害の現地調査				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	5月27日(金) 津南町小池沢 十日町市中尾 津南町辰ノ口 その他				
調査期間	平成23年5月27日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	後藤 聡	山梨大学	地盤防災、地盤工学	<a href="mailto:goto@yamanashi.ac.jp">goto@yamanashi.ac.jp</a>	
連絡代表者	後藤 聡	同上			
会計責任者	後藤 聡	同上			
団員	櫻井正明	山地防災研究所	砂防、森林防災		
	上野将司	応用地質	斜面防災、地質		
	佐々木寧	埼玉大学	生態工学		
	北野仁郎	建設技術研究所	道路、都市計画		
	岩佐直人	日鐵住金建材	地盤防災		
	備考				

調査団名称	水工学委員会東北関東大震災調査団				
主な調査項目	津波の河川遡上と氾濫に関する現象, 津波氾濫と地形変動, 津波遡上・氾濫による河川堤防の被災, 斜面崩壊・土砂災害など, 漂流物による河川構造物被害, 家屋流失の水工学的検討(家屋流失限界, 防潮林などの植生の減災効果), 避難システム・避難の実態と教訓				
主な調査地点	岩手・宮城・福島・茨城・千葉各県ならびに北海道太平洋沿岸の津波被災地, これらの地域を流れる河川の堤防ならびに流域内の浸水区域				
調査期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成23年 5月 31日(予定)				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	田中 仁	東北大学大学院教授	水工学		
連絡代表者	関根正人	早稲田大学理工学術院教授	河川工学・水理学	sekine@waseda.jp	
会計責任者	田中規夫	埼玉大学大学院教授	水工学		
団員	中川 一	京都大学防災研究所教授	河川工学・水理学		
	清水康行	北海道大学大学院教授	河川工学・水理学		
	風間 聡	東北大学大学院准教授	水工学		
	梅田 信	東北大学大学院准教授	水工学		
	川越 清樹	福島大学准教授	自然災害科学		
	安田浩保	新潟大学大学院准教授	水工学		
	菅 和利	芝浦工業大学教授	水工学		
	土屋 十圀	前橋工科大学教授	河川水文学		
	池田裕一	宇都宮大学准教授	河川工学・水理学		
	石野和男	大成建設技術研究センター	水工学		
	清水義彦	群馬大学大学院教授	河川工学・水理学		
	関根正人	早稲田大学理工学術院教授	河川工学・水理学		
	田中規夫	埼玉大学大学院教授	水工学		
	山坂昌成	国土館大学教授	河川工学・水理学		
	知花 武佳	東京大学大学院准教授	河川工学・水理学		
	横山勝英	首都大学東京准教授	水工学		
	松本健作	群馬大学大学院助教	河川工学・水理学		
	堀田紀文	筑波大学大学院准教授	林学・森林工学		
	里深好文	立命館大学教授	河川工学・砂防工学		
	堤 大三	京都大学防災研究所准教授	林学・森林工学		
	米山 望	京都大学防災研究所准教授	水工学		
	川池健司	京都大学防災研究所准教授	河川工学・水理学		
	葛葉泰久	三重大学大学院教授	水文学・河川工学		
	牛山素行	静岡大学防災総合センター准教授	災害情報学		
	真野 明	東北大学大学院工学研究科災害制御研究センター教授	水工学		
	朝岡良浩	東北大学大学院工学研究科助教	水文学		
佐々木幹夫	八戸工業大学工学部教授	海岸工学			
長林久夫	日本大学工学部教授	河川工学			
二瓶 泰雄	東京理科大学理工学部准教授	水工学			
手計太一	富山県立大学工学部講師	水工学			
備考					



東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年4月20日

調査団名称	土木計画学研究委員会 東日本大震災特別小委員会 交通システム班 空港・港湾グループ					
主な調査項目	空港・港湾施設の被災とその復旧過程の掌握					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	4.25塩釜港、仙台市内物資拠点、花巻空港 4.26石巻港、女川港および宮城県物流拠点、岩手県物流拠点、宮古港、釜石港、大船渡港 4.27仙台空港					
調査期間	平成23年4月24日 ~ 平成23年4月27日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	岡本直久	筑波大学システム情報工学研究科	交通計画			
連絡代表者	岡本直久	筑波大学システム情報工学研究科	交通計画	okamoto@sk.tsukuba.ac.jp		
会計責任者	平田輝満	運輸政策研究機構運輸政策研究所	航空工学			
団員	竹林幹雄	神戸大学海事科学研究科	交通計画			
	轟朝幸	日本大学理工学部	交通計画			
	石黒一彦	神戸大学海事科学研究科	交通計画			
	柴崎隆一	国土交通省国土技術政策総合研究所	交通計画			
	備考					

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年5月13日

調査団名称	土木計画学研究委員会東日本大震災調査小委員会 鉄道班				
主な調査項目	三陸鉄道沿線の被害状況把握と市街地整備と一体化した復興可能性調査				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	三陸鉄道沿線視察および三陸鉄道会へのヒアリング 5/14 三陸鉄道南リアス線沿線調査 5/15 午前:三陸鉄道会訪問、午後:三陸鉄道北リアス線沿線調査				
調査期間	平成23年05月14日 ~ 平成23年05月15日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	兵藤哲朗	東京海洋大学	交通計画	<a href="mailto:hvodo@kaiyodai.ac.jp">hvodo@kaiyodai.ac.jp</a>	
連絡代表者					
会計責任者					
団員	高田和幸	東京電機大学	交通計画		
	岩倉成志	芝浦工業大学	交通計画		
	備考				

調査団名称	新潟・長野県境震災調査チーム				
主な調査項目	道路被害, 地すべり, 雪崩				
主な調査地点	長野県栄村, 新潟県十日町				
調査期間	平成23年3月30日 ~ 平成23年5月30日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	阿部和久	新潟大学工学部建設学科			
連絡代表者	阿部和久	新潟大学工学部建設学科			
会計責任者	小熊正実	土木学会関東支部事務局			
団員	阿部和久	新潟大学工学部建設学科	応用力学		
	大川秀雄	新潟大学工学部建設学科	地盤工学・道路工学		
	紅露一寛	新潟大学自然科学研究科	応用力学		
	保坂吉則	新潟大学工学部建設学科	地盤工学		
	大塚 悟	長岡技術科学大学工学部環境・建設系	地盤工学・防災工学		
	豊田浩史	長岡技術科学大学工学部環境・建設系	地盤工学		
	磯部公一	長岡技術科学大学工学部環境・建設系	地盤工学・基礎工学		
	備考				

調査団名称	千葉地域震災調査チーム				
主な調査項目	道路被害, 地盤液状化状況, 海岸線および海岸構造物被害				
主な調査地点	千葉市幕張地区他, 浦安地区, 旭地区, 九十九里地区, 銚子地区 ほか				
調査期間	平成23年3月30日 ~ 平成23年4月30日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	落合 実	日本大学生産工学部土木工学科			
連絡代表者	落合 実	日本大学生産工学部土木工学科			
会計責任者	小熊正実	土木学会関東支部事務局			
団員	落合 実	日本大学生産工学部土木工学科	海岸・水理学系		
	小田 晃	日本大学生産工学部土木工学科	河川・水理学系		
	鷺見浩一	日本大学生産工学部土木工学科	海岸・水理学系		
	加納陽輔	日本大学生産工学部土木工学科	道路・地盤系		
	朝香智仁	日本大学生産工学部土木工学科	リモートセンシング系		
	鬼塚信弘	木更津工業高等専門学校環境都市工学科	地盤・地震系		
	嶋崎彦人	木更津工業高等専門学校環境都市工学科	GIS・リモートセンシング系		
	備考				



調査団名称	茨城・栃木地域震災調査チーム(茨城)				
主な調査項目	1. 沿岸域調査(津波、液状化、地盤沈下、土地被覆、上下水道、水質など) 2. 道路・橋梁調査(桁落下、路面段差、支承部の破損、落橋防止装置の破損など) 3. 住宅地調査(液状化、段差、地盤沈下、倒壊など) 4. 河川堤防(液状化、変状など)				
主な調査地点	1. 沿岸域調査 ・大洗町、日立市、北茨城市  2. 道路・橋梁調査 ・水戸市、那珂市、常陸太田市、高萩市、つくば市、筑西市、行方市、ほか  3. 住宅地調査 ・日立市、龍ヶ崎市、我孫子市布佐  4. 河川堤防 ・利根川(取手周辺)、小貝川(藤代周辺)				
調査期間	平成23年4月1日 ~ 平成23年5月31日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	安原一哉	茨城大学地球変動適応科学研究機関	地盤工学		
連絡代表者	藤田昌史	茨城大学工学部都市システム工学科	環境衛生工学	<a href="mailto:fujita@mx.ibaraki.ac.jp">fujita@mx.ibaraki.ac.jp</a>	
会計責任者	小熊正実	土木学会関東支部事務局			
団員	安原一哉	茨城大学地球変動適応科学研究機関	地盤工学		
	呉智深	茨城大学工学部都市システム工学科	構造工学		
	小峯秀雄	茨城大学工学部都市システム工学科	地盤工学		
	横木裕宗	茨城大学工学部都市システム工学科	海岸環境工学		
	桑原祐史	茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター	空間情報工学(RS/GIS/GPS)		
	原田隆郎	茨城大学工学部都市システム工学科	維持管理工学		
	村上哲	茨城大学工学部都市システム工学科	地盤工学		
	藤田昌史	茨城大学工学部都市システム工学科	環境衛生工学		
	佐藤大作	茨城大学工学部都市システム工学科	海岸工学		
	齋藤修	茨城大学工学部都市システム工学科防災環	センサーネットワーク・並列コンピューティング		
備考					













東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年 6 月 8 日

調査団名称	東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ(早稲田大学津波被災調査隊)					
主な調査項目	痕跡高調査、海岸構造物被災調査					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	6月9日 釜石、大船渡、気仙沼 6月10日 気仙沼、南三陸					
調査期間	平成23年 6 月 9 日 ~ 平成23年 6 月 10 日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	柴山 知也	早稲田大学創造理工学部社会環境工学科	海岸工学			
連絡代表者	大谷 彬	早稲田大学大学院創造理工学研究科		ak.ohtani@gmail.com		
会計責任者						
団員	Miguel Esteban	早稲田大学				
	大平 幸一郎	早稲田大学大学院創造理工学研究科				
	Thao Nguyen Danh	Ho Chi Minh City University of Technology				
	大谷 彬	早稲田大学大学院創造理工学研究科				
	備考					



東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年6月11日

調査団名称	東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ(東工大チーム)					
主な調査項目	津波遡上・浸水高					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	南相馬市(福島原発20-30km圏)を中心とした福島県北部沿岸域					
調査期間	平成23年6月12日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	灘岡和夫	東京工業大学	沿岸環境学	<a href="mailto:nadaoka@mei.titech.ac.jp">nadaoka@mei.titech.ac.jp</a>		
連絡代表者	同上	同上	同上			
会計責任者	同上	同上	同上			
団員	熊谷航	海洋プランニング(株)	海岸調査			
	備考					

東日本大震災東北学術調査委員会 現地調査計画書

平成23年 4月 13日

調査団名称	東日本大震災 東北学術調査委員会 ( 第Ⅱ部門)				
調査期間	平成23年4月 16日～4月 17日(予定)				
主な調査項目	東北関東大震災に伴う福島県南部および茨城県北部における1級, 2級河川の津波遡上調査に伴う河川堤防・構造物の被害調査、および海岸域における樹林帯, 家屋流失に関する調査				
主な調査地点	主な調査地点・工程 茨城県北部(日立市, 高萩市, 北茨城市)から福島県南部(いわき市 勿来町から四倉町まで北上)を主な調査地点とする。工程は下記の通り。  ※具体的に日程が決まっている場合は必ずご記入願います				
	日時	調査箇所			
	2011/4/16	横川・夏井川・滑津川・藤原川・鮫川とその間の海岸域(田中, 八木澤, 古里, 安田(学生))			
	2011/4/17	大北川・塩田川・安良川・東連津川・久慈川とその間の海岸域(田中, 八木澤, 古里, 安田(学生))			
調査団	役職	名前	所属	専門分野	携帯電話 ※代表と連絡代表者は必ず明記 お願いします
	代表名	田中 規夫	埼玉大学大学院理工学研究科	河川工学	
	連絡代表名	同上	同上	同上	
	団員	八木澤 順治	埼玉大学大学院理工学研究科	河川工学	
		古里 栄一	埼玉大学大学院理工学研究科	河川工学	
		安田 智史	埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程	-	
備考					

東日本大震災東北学術調査委員会 現地調査計画書

平成23年 4月 13日

調査団名称	東日本大震災 東北学術調査委員会 (第Ⅱ部門)				
調査期間	平成23年4月 27日～4月 29日(予定)				
主な調査項目	東北関東大震災に伴う福島県北部および宮城県南部における1級、2級河川の津波遡上に伴う河川堤防・構造物の被害調査、および海岸域における樹林帯、家屋流失に関する調査				
主な調査地点	主な調査地点・工程 福島県北部(相馬市)から宮城県南部(山元町, 亶理町, 岩沼市, 名取市, 仙台市)を主な調査地点とする。工程は下記の通り。  ※具体的に日程が決まっている場合は必ずご記入願います				
	日時	調査箇所			
	2011/4/27	仙台市, 名取市の海岸域, 名取川, 七北田川(田中, 八木澤, 古里, 安田(学生))			
	2011/4/28	仙台市, 名取市の海岸域, 名取川, 七北田川(田中, 八木澤, 古里, 安田(学生))			
	2011/4/29	山元町, 亶理町, 岩沼市, 相馬市(田中, 八木澤, 古里, 安田(学生))			
調査団	役職	名前	所属	専門分野	携帯電話 ※代表と連絡代表者は必ず明記 お願いします
	代表名	田中 規夫	埼玉大学大学院理工学研究科	河川工学	
	連絡代表名	同上	同上	同上	
	団員	八木澤 順治	埼玉大学大学院理工学研究科	河川工学	
		古里 栄一	埼玉大学大学院理工学研究科	河川工学	
		安田 智史	埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程	-	
備考					

東日本大震災東北学術調査委員会 現地調査計画書

平成23年 4月 14日

調査団名称	東日本大震災 東北学術調査委員会 ( 第Ⅱ部門 水工学委員会)				
調査期間	平成23年4月 14日～4月 16日				
主な調査項目	津波河川遡上. 堤防被害.				
主な調査地点	主な調査地点・工程				
	調査地点とする. 工程は下記の通り.				
	※具体的に日程が決まっている場合は必ずご記入願います				
	日時	調査箇所			
	2011/4/14	気仙沼、陸前高田で気仙川を中心に調査(菅 和利)			
2011/4/15	南三陸町の志津川を中心に調査(菅 和利)				
2011/4/16	旧北上川、北上川の調査(菅 和利)				
調査団	役職	名前	所属	専門分野	携帯電話 ※代表と連絡代表者は必ず明記 お願いします
	代表名	菅 和利	芝浦工業大学	河川工学	
	連絡代表名				
				-	
備考					

東日本大震災東北学術調査委員会 現地調査計画書

平成23年 4月 12日

調査団名称	東日本大震災 東北学術調査委員会 ( 第Ⅱ部門)				
調査期間	平成23年4月 18日～4月 28日(予定)				
主な調査項目	東北関東大震災に伴う福島県2級河川における河口地形変化, 落橋, 破堤, 津波遡上の調査				
主な調査地点	主な調査地点・工程				
	※具体的に日程が決まっている場合は必ずご記入願います				
	日時	調査箇所			
	2011/4/18	福島県いわき建設事務所, 夏井川, 夏井・四ツ倉海岸(長林,川越, 林, 多田,)			
	2011/4/19	藤原川, 鮫川(長林,川越, 林, 多田)			
	2011/4/27	福島県相双建設事務所, 松川浦, 宇多川(長林, 川越)			
2011/4/28	(予備日)				
調査団	役職	名前	所属	専門分野	携帯電話 ※代表と連絡代表者は必ず明記 お願いします
	代表名	長林久夫	日本大学工学部土木工学科	水工学	
	連絡代表名	同上	同上	同上	
	団員	川越清樹	福島大学大学院共生システム理工学研究科	水文学	
		林建二郎	防衛大学校建設環境工学科	海岸工学	
		多田 毅	防衛大学校建設環境工学科	水文学	
備考					

東日本大震災東北学術調査委員会 現地調査計画書

平成23年 4月 6日

調査団名称	東日本大震災 東北学術調査委員会 ( 第Ⅱ部門)				
調査期間	平成23年4月 8日～4月 23日(予定)				
主な調査項目	東北関東大震災に伴う宮城県1級, 2級河川における河口地形変化, 落橋, 破堤, 津波遡上の調査				
主な調査地点	主な調査地点・工程				
	※具体的に日程が決まっている場合は必ずご記入願います				
	日時	調査箇所			
	2011/4/8	旧北上川, 定川, 鳴瀬川, 吉田川, 七北田川, 砂押川, 名取川, 増田川 (田中, 梅田, 安田)			
	2011/4/9	上記予備日			
	2011/4/10	阿武隈川 (真野, 田中, 川越, 安田)			
	2011/4/22	気仙沼大川, 気仙川 (真野, 風間, 葛葉, 朝岡)			
	2011/4/23	上記予備日			
調査団	役職	名前	所属	専門分野	携帯電話 ※代表と連絡代表者は必ず明記 お願いします
	代表名	田中 仁	東北大学大学院工学研究科	河川工学	
	連絡代表名	同上	同上	同上	
	団員	真野 明	東北大学大学院工学研究科	河川工学	
		風間 聡	東北大学大学院工学研究科	水文学	
		梅田 信	東北大学大学院工学研究科	河川工学	
		安田安保	新潟大学災害復興センター	河川工学	
		川越清樹	福島大学大学院共生システム理工学研究科	水文学	
		朝岡良浩	東北大学大学院工学研究科	水文学	
		葛葉泰久	三重大学大学院生物資源学研究科	水文学	
備考					

東日本大震災東北学術調査委員会 現地調査計画書

平成23年 4月 22日

調査団名称	東日本大震災 東北学術調査委員会 ( 第Ⅱ部門)				
調査期間	平成23年4月 26日～4月 28日				
主な調査項目	東北関東大震災に伴う宮城県及び岩手県1級, 2級河川における河口地形変化, 落橋, 破堤, 津波遡上の調査				
主な調査地点	主な調査地点・工程				
	※具体的に日程が決まっている場合は必ずご記入願います				
	日時	調査箇所			
	2011/4/26	旧北上川, 北上川, 定川			
	2011/4/27	気仙沼大川, 気仙川			
2011/4/28	鳴瀬川, 吉田川(中川, 川池)				
調査団	役職	名前	所属	専門分野	携帯電話 ※代表と連絡代表者は必ず明記 お願いします
	代表名	中川 一	京都大学防災研究所	河川工学、流砂水理学	
	連絡代表名	同上	同上	同上	
	団員	川池健司	京都大学防災研究所	河川工学	
		馬場康之	京都大学防災研究所	海岸工学	
		張 浩	京都大学防災研究所	流砂水理学	
備考					

東日本大震災東北学術調査委員会 現地調査計画書

平成23年 4月 8日

調査団名称	東日本大震災 東北学術調査委員会 ( 第Ⅱ部門)				
調査期間	平成23年4月 8日～4月 24日(予定)				
主な調査項目	東北地方太平洋沖地震に伴う青森県および岩手県1級, 2級河川における河口地形変化, 落橋, 破堤, 津波遡上の調査				
主な調査地点	主な調査地点・工程				
	※具体的に日程が決まっている場合は必ずご記入願います				
	日時	調査箇所			
	2011/4/8-21	新井田川、馬淵川、奥入瀬川、五戸川			
	2011/4/22	久慈川、宇部川、安家川、普代川、平井賀川、小本川、接待川、長内川、田老川			
	2011/4/23	閉井川、津軽石川、関口川、折笠川、波板海岸、大槌川、鶴住居川、小海川、大渡川			
2011/4/24	波板海岸、大槌川、鶴住居川、小海川、大渡川				
調査団	役職	名前	所属	専門分野	携帯電話 ※代表と連絡代表者は必ず明記 お願いします
	代表名	佐々木幹夫	八戸工業大学大学院	水工学	
	連絡代表名	同上	同上	同上	
	団員	服部邦彦	八戸工業大学大学院研究生	水工学	
		加藤匡浩	八戸工業大学水工学研究室学生	水工学	
		月舘亮裕	八戸工業大学水工学研究室学生	水工学	
		根市知典	八戸工業大学水工学研究室学生	水工学	
備考					



東日本大震災東北学術調査委員会 現地調査計画書

平成23年 4月18日

調査団名称	東日本大震災 東北学術調査委員会 ( 第Ⅱ部門)				
調査期間	平成23年4月24日(予定)				
主な調査項目	東北地方太平洋沖地震に伴う岩手県における津波浸水高さと遡上の調査				
主な調査地点	主な調査地点・工程				
	※具体的に日程が決まっている場合は必ずご記入願います				
	日時	調査箇所			
	2011/4/24	久慈市久慈川、野田村宇部川			
調査団	役職	名前	所属	専門分野	携帯電話 ※代表と連絡代表者は必ず明記 お願いします
	代表名	南将人	八戸工業高等専門学校	水工学	
	連絡代表名	同上	同上	同上	
	団員	下机洋輔	八戸工業高等専門学校 学生	水工学	
		八百翔栄	八戸工業高等専門学校 学生	水工学	
備考					

## 東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年4月14日

調査団名称	海洋開発委員会-ASCE-SEI合同調査(第1班)				
主な調査項目	土木学会が協力協定を締結する、ASCE(米国土木学会)の津波調査団による現地調査。 ASCE Structural Engineering Institute (SEI) Tsunami Reconnaissance Team: ・ 6 person team experienced in post-tsunami investigations led by Gary Chock of the ASCE 7 Tsunami Loads and Effects Subcommittee ・ Arrival scheduled for mid-April (Arrival April 16 or 23) lasting approximately 9 days ・ Primary Reconnaissance Area: ~ Sendai, Ishinomaki, and then north in Iwate Prefecture up to ~ Miyako ・ Secondary Reconnaissance Area: ~ Ibaraki from Katsuta to Katsuura ・ Briefing with Japanese partners at the beginning and at the end of the reconnaissance trip (in Tokyo) ・ After Tokyo in-brief, travel by air first to Yamagata, then by highways and local roads ・ Anticipated to remain >80 km away from Fukushima I and II plants, per USA recommendation ・ Emphasis on tsunami and debris impact effects on structures rather than detailed runup measurements				
主な調査地点	4/16: 移動 4/17: 久慈, 宮古, 宮古市田老地区 4/18: 釜石, 大槌 4/19: 陸前高田, 大船渡 4/20: 気仙沼, 南三陸 4/21: 石巻, 女川, 仙台 4/22: 塩竈, 仙台港, 名取, 仙台空港 4/23: 柴山・Nister・Kriebelは帰京し、大洗, 常陸太田へ。他のメンバーは、女川, 仙台港 4/24: 第2班に合流し、名取視察後に帰京				
調査期間	平成23年4月16日 ~ 平成23年4月24日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	柴山知也	早稲田大学理工学術院教授	海岸工学		
連絡代表者	柴山知也	早稲田大学理工学術院教授	海岸工学	shibayama@waseda.jp	
会計責任者	柴山知也	早稲田大学理工学術院教授	海岸工学		
団員	柴山知也	早稲田大学理工学術院教授	海岸工学		
	高木泰士	国際協力機構	海岸工学		
	鈴木崇之	横浜国立大学准教授	海岸工学		
	笠野英行	早稲田大学理工学術院助教	構造工学		
	Gay Chock	ASCE-SEI			
	Ian Robertson	ASCE-SEI			
	Ioan Nistor	ASCE-SEI			
	David L. Kriebel	ASCE-SEI			
	備考	ASCE SEI: 米国土木学会構造工学研究所(SEI: The Structural Engineering Institute)			

調査団名称	海洋開発委員会-ASCE-COPRI合同調査(第2班)				
主な調査項目	<p>土木学会が協力協定を締結する、ASCE(米国土木学会)の津波調査団による現地調査。  ASCE Coasts Oceans Ports and Rivers Institute (COPRI) Coastal Structures Reconnaissance Team:  ・ 3 person team led by Lesley Ewing Sr., Coastal Engineer of the California Coastal Commission and Co-Chair of the of the COPRI Post-Disaster Investigation Committee  ・ Arrival being scheduled for late April/early May  ・ Primary Reconnaissance Area: Coastal Structures located North of Fukushima Prefecture</p>				
主な調査地点	4/24: 仙台港, 名取川周辺 4/25: 石巻, 女川, 南三陸 4/26: 気仙沼, 陸前高田, 大船渡 4/27: 釜石 4/28: 宮古, 久慈 4/30: 鴨川, 勝浦, いすみ 5/1: 鹿島				
調査期間	平成23年4月25日 ~ 平成23年5月1日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	柴山知也	早稲田大学理工学術院教授	海岸工学		
連絡代表者	柴山知也	早稲田大学理工学術院教授	海岸工学	shibayama@waseda.jp	
会計責任者	柴山知也	早稲田大学理工学術院教授	海岸工学		
団員	柴山知也	早稲田大学理工学術院教授	海岸工学		
	高橋重雄	港湾空港技術研究所	海岸工学		
	森 信人	京都大学防災研究所	海岸工学		
	安田誠宏	京都大学防災研究所	海岸工学		
	Solomon Yim	ASCE-COPRI	構造力学		
	Daniel Cox	ASCE-COPRI	海岸工学		
	Mathew Francis	ASCE-COPRI	構造力学		
	備考	ASCE COPRI: 米国土木学会海岸海洋港湾河川研究所 (COPRI: The Coasts, Oceans, Ports, and Rivers Institute)			

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年 5月 9日

調査団名称	海洋開発委員会-ASCE-COPRI合同調査(第3班、チームA&B)					
主な調査項目	港湾施設を中心に、港湾施設被害・沿岸部コンビナート・石油精製施設等・緊急時対応・復旧方針・荷役機械等について調査を行う。					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	5月10日 来日(東京泊) 5月11日 夜 東京→新幹線→仙台(仙台泊) 5月12日 相馬港調査(仙台泊) 5月13日 チームA:松島・石巻・女川、チームB:JX日鉱日石仙台製油所(古川泊) 5月14日 チームA:仙台港・高砂、チームB:仙台港・高砂、塩釜石油精製工場(予定)(北上泊) 5月15日 チームA:気仙沼港・MOT、チームB:大船渡港(盛岡泊) 5月16日 チームA:釜石港・大槌町、チームB:宮古港(盛岡泊) 5月17日 チームA:八戸港・JON八戸油槽所、チームB:久慈港(三沢泊) 5月18日 午前:三沢空港発9:55 JAL1222 11:15 羽田空港着 午後:羽田空港で打合(東京泊) 5月19日 帰国					
調査期間	平成23年5月11日 ~ 平成23年5月18日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	菅野高広	(独)港湾空港技術研究所 特別研究官(地震防災研究担当)	地震工学			
連絡代表者	菅野高広	(独)港湾空港技術研究所 特別研究官(地震防災研究担当)	地震工学	<a href="mailto:macsuga@sea.plala.or.jp">macsuga@sea.plala.or.jp</a>		
会計責任者	菅野高広	(独)港湾空港技術研究所 特別研究官(地震防災研究担当)	地震工学			
団員	Marc Percher	ASCE-COPRI, Halcrow	港湾施設			
	Alex Augustin	ASCE-COPRI, California State Lands Commission	港湾施設			
	Bill Bruin	ASCE-COPRI, Halcrow	港湾施設			
	William Rudolph	ASCE-COPRI, ENGEO	地盤地震工学			
	Yoshi Oritatsu	ASCE-COPRI, Liftech Consultants	クレーンの耐震設計			
	Martin Eskijian	ASCE-COPRI, California State Lands Commission	港湾施設			
	有川太郎	(独)港湾空港技術研究所 海洋・水工部 海洋研究領域 耐波	海岸工学			
	中澤博志	(独)港湾空港技術研究所 地盤・構造部 地震防災研究領域	地震工学			
	大矢陽介	(独)港湾空港技術研究所 地盤・構造部 地震防災研究領域	地震工学			
備考						

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年 5月 9日

調査団名称	海洋開発委員会-ASCE-COPRI合同調査(第3班 チームC&D)				
主な調査項目	港湾施設を中心に、港湾施設被害・耐震設計設計・性能設計等について調査を行う。				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	5月18日 チームA&Bとのミーティング(東京泊) 5月19日 港湾空港研でのブリーフィング(横須賀泊) 5月20日 チームC:千葉・鹿島方面、チームD:旭・銚子(千葉泊予定) 5月21日 チームC:大洗港・常陸那珂港、チームD:銚子港・鹿島港(日立泊予定) 5月22日 チームC&D:大津港・小名浜港(北茨城泊) 5月23日 チームC&D:相馬港(宿泊先未定) 5月24日 チームC&D:仙台港(仙台泊) 5月25日 チームC&D:仙台港(仙台泊) 5月26日 チームC:女川港、チームD:石巻港(仙台泊) 5月27日 チームC:帰京(東京泊)、チームD:未定(仙台泊) 5月28日 チームD:帰京(東京泊)				
調査期間	平成23年5月18日 ~ 平成23年5月24日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	山崎浩之	(独)港湾空港技術研究所 地盤領域研究長	地盤工学		
連絡代表者	菅野高広	(独)港湾空港技術研究所 特別研究官(地震防災研究担当)	地震工学	macsuga@sea.plala.or.jp	
会計責任者	菅野高広	(独)港湾空港技術研究所 特別研究官(地震防災研究担当)	地震工学		
団員	Stephen Dickenson	ASCE-COPRI, New Albion Geotechnical Inc.	地盤工学		
	Robert Harn	ASCE-COPRI, BergerAbam Engineers	港湾工学		
	James R. Martin	ASCE-COPRI, Virginia Polytechnic Institution & State University	地盤工学		
	Peter Yin	ASCE-COPRI, Port of Los Angeles	地震工学		
	上田恭平	(独)港湾空港技術研究所 地盤・構造部 地震防災研究領域	地震工学		
	大久保陽介	(独)港湾空港技術研究所 地盤・構造部 地震防災研究領域	地震工学		
	上月 裕	熊本県土木部港湾課建設係主幹	地震工学		
備考					

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年 5月2日

調査団名称	海洋開発委員会-ASCE-COPRI合同調査(第4班)					
主な調査項目	岩手・宮城両県の港湾施設並びに防波堤の被災状況を調査					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	5月10日 成田着 5月11日 港湾・空港・漁港技術講演会(虎ノ門)に参加 5月12日 羽田7時55分発三沢空港 → 久慈、野田調査 (久慈泊) 5月13日 田老、宮古調査 (花巻泊) 5月14日 大槌、唐丹、気仙沼調査 (一関泊) 5月15日 南三陸、女川調査(仙台泊) 5月16日 石巻、野蒜調査(仙台泊) 5月17日 最終打合(成田泊) 5月18日 成田発 米国へ					
調査期間	平成23年5月10日 ~ 平成23年5月18日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	高橋重雄	(独)港湾空港技術研究所 研究主監	海岸工学			
連絡代表者	鈴木高二郎	(独)港湾空港技術研究所 海洋環境情報研究チームリーダー	海岸工学	<a href="mailto:suzuki.k@pari.go.jp">suzuki.k@pari.go.jp</a>		
会計責任者	鈴木高二郎	(独)港湾空港技術研究所 海洋環境情報研究チームリーダー	海岸工学			
団員	Marc Percher	ASCE-COPRI				
	Lesley Ewing Sr.	ASCE-COPRI				
	Gay Chock	ASCE-COPRI				
		ASCE-COPRI				
		ASCE-COPRI				
		ASCE-COPRI				
	田中 陽二	(独)港湾空港技術研究所 海洋環境情報研究チーム研究官				
	松崎	(独)港湾空港技術研究所 海洋環境情報研究チーム研究官				
	備考					

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年 4 月 21日

調査団名称	東京海洋大学・ジョージア工科大学調査団				
主な調査項目	津波浸水・遡上高さの調査				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	平成23年4月22日 東京出発, 女川近辺 平成23年4月23日 越喜来湾周辺 平成23年4月24日 吉浜湾周辺 平成23年4月25日 帰京				
調査期間	平成23年4月22日 ~ 平成23年4月25日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	岡安章夫	東京海洋大学	海岸工学		
連絡代表者	下園武範	東京海洋大学	海岸工学	<a href="mailto:shimo@kaiyodai.ac.jp">shimo@kaiyodai.ac.jp</a>	
会計責任者	同				
団員	Hermann Fritz	Georgia Institute of Technology	海岸災害		
	朴燕子	東京海洋大学	海岸工学		
	備考				

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年 6 月 8日

調査団名称	東京海洋大学・ジョージア工科大学調査団					
主な調査項目	津波被災地の地形測量					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	平成23年6月10日 牡鹿半島寄磯浜 平成23年6月11日 陸前高田市 平成23年6月12日 釜石市 平成23年6月13日 気仙沼市 平成23年6月14日 大船渡市					
調査期間	平成23年 6月 10日 ~ 平成23年 6月 14日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	岡安章夫	東京海洋大学	海岸工学			
連絡代表者	下園武範	東京海洋大学	海岸工学	<a href="mailto:shimo@kaiyodai.ac.jp">shimo@kaiyodai.ac.jp</a>		
会計責任者	同					
団員	Hermann Fritz	Georgia Institute of Technology	海岸災害			
	David Phillips	UNAVCO	地形測量			
	今野祐輔	東京海洋大学	海岸工学			
	備考					



東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年4月28日

調査団名称	東北地方太平洋沖地震 東京大学 津波・構造物合同調査グループ				
主な調査項目	仙台近郊および南三陸地域の被災状況				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	多賀城, 女川, 志津川, 大槌町, 釜石				
調査期間	平成23年4月29日 ~ 平成23年5月1日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	本田利器	東京大学 工学系研究科社会基盤学専攻	地震工学		
連絡代表者	石田哲也	東京大学 工学系研究科社会基盤学専攻	コンクリート工学	<a href="mailto:tetsuya.ishida@civil.t.u-tokyo.ac.jp">tetsuya.ishida@civil.t.u-tokyo.ac.jp</a>	
会計責任者	石田哲也	東京大学 工学系研究科社会基盤学専攻	コンクリート工学		
団員	千々和伸浩	東京大学 工学系研究科社会基盤学専攻	コンクリート工学		
	高橋佑弥	東京大学 工学系研究科社会基盤学専攻	コンクリート工学		
	備考				

## 東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年 4月28日

調査団名称	地域基盤再構築に関する日本都市計画学会・土木学会連携委員会				
主な調査項目	被災地域の復興方策について、生活再建、生業再建、安全再建の視点から総合的に調査分析するための実情調査				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	4/29-5/2は宮城県、5/3-6は岩手県をそれぞれ地域別・分野別の班に分かれて調査 4/29:宮城県庁訪問、ヒアリング 4/30:仙南(名取)班-現地調査、石巻班-現地調査、南三陸班-現地調査 5/1:仙南(名取)班-名取市役所訪問、石巻班-石巻市役所訪問、南三陸班-南三陸町訪問 5/2:仙南(名取)班-現地調査、石巻班-石巻商工会議所訪問、南三陸班-現地調査 5/3:岩手県ならびにUR訪問、ヒアリング 5/4:陸前高田班-現地調査、大船渡班-現地調査、宮古班-現地調査 5/5:陸前高田班-陸前高田市役所訪問、大船渡班-大船渡市役所訪問、宮古班-宮古市役所訪問 5/6:陸前高田班-現地調査、大船渡班-現地調査、宮古班-現地調査				
調査期間	平成23年4月29日 ~ 平成23年5月7日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	岸井 隆幸	日本大学	都市計画		
連絡代表者	家田 仁	東京大学	国土計画・交通	<a href="mailto:ieda@civil.t.u-tokyo.ac.jp">ieda@civil.t.u-tokyo.ac.jp</a>	
会計責任者	布施 孝志	東京大学	空間情報		
団員	浅見 泰司	東京大学	都市計画		
	阿部 雅人	BMC	構造		
	糸井川栄一	筑波大学	都市防災		
	大沢 昌玄	日本大学	都市計画・土木史		
	岡安 章夫	東京海洋大学	海岸工学		
	奥村 誠	東北大学	地域計画		
	川添 善行	東京大学	建築設計・まちづくり		
	黒倉 寿	東京大学	水産		
	鈴木 隆介	中央大学	地形学・地質学		
	田島 芳満	東京大学	海岸工学		
	谷口 守	筑波大学	都市計画		
	羽藤 英二	東京大学	交通計画		
	平野 勝也	東北大学	景観工学		
	福井 恒明	東京大学	景観計画		
	丸山 久一	長岡技術科学大学	構造		
	南 正昭	岩手大学	まちづくり		
	山路 永司	東京大学	農業		
	中井 祐	東京大学	まちづくり		
	福士 謙介	東京大学	衛生		
	布施 孝志	東京大学	空間情報		
	北原 啓司	弘前大学			
	石川 雄章	東京大学情報学環			
	田中 克直	東京大学情報学環			
	野崎秀則	オリエンタルコンサルタンツ			
	江藤和昭	オリエンタルコンサルタンツ			
	佐藤雅樹	オリエンタルコンサルタンツ			
	上野俊司	国際航業			
	村田和夫	建設技術研究所			
	星 享	建設技術研究所			
	庄司秀樹	国際航業			
	高柳 誠也	東京大学 景観研M1			
	関口 慧斗	東京大学 地情研M1			
	高浜 康亘	東京大学 景観研M1			
	中西 航	東京大学 地情研D2			
	山中 悠資	東京大学 海岸研M1			
	大野木 洋輔	東京大学 交通研M2			
	谷津 祥太郎	東京大学 新領域M1			
	舟竹 祥太郎	東京大学 海岸研M2			
	小島 卓也	東京大学 交通研M1			
	田中 佑典	東京大学 交通研M2			
	渡邊 拓也	東京大学 地情研M1			
	伊藤 隆彬	東京大学 景観研B4			
	内藤 歩	東京大学 景観研M1			
	松本 健人	東京大学 地情研M2			
	徳田 紗友里	東京大学 交通研M1			
備考					

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年 4月28日

調査団名称	土木専門家情報センターおよび復興施工技術特定テーマ合同調査団				
主な調査項目	土木学会は被災地の復興に資する活動として、土木専門家や復興施工技術の紹介を行うこととし、それぞれ特定テーマとして検討を開始した。本調査団では、被災地の調査とあわせて、主な自治体を訪問し、支援内容の説明と関係者との意見交換を行う。				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	5/7(土) 午後:釜石、大船渡調査、大船渡市長訪問 5/8(日) 午前:気仙沼 調査、午後:石巻、多賀城、仙台港、名取、亶理、山元を調査 5/9(月) 午前:東北支部、日建連訪問、午後:東北地方整備局局長訪問、宮城県土木部長訪問 5/10(火) 午前:宮古市視察、午後:岩手県土木整備部長訪問				
調査期間	平成23年5月7日(土) ~ 平成23年5月10日(火)				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	山本 卓朗	公益社団法人土木学会 次期会長、鉄建建設(株)特別顧問	鉄道		
連絡代表者	古木 守靖	公益社団法人土木学会 専務理事	道路	<a href="mailto:furuki@jsce.or.jp">furuki@jsce.or.jp</a>	
会計責任者	古木 守靖	公益社団法人土木学会 専務理事	道路		
団員	小野 武彦	公益社団法人土木学会 元理事、清水建設(株)代表取締役副社長	施工マネジメント		
	井手 和雄	公益社団法人土木学会 理事、清水建設(株)常務執行役員土木事業本部営業統括	施工マネジメント		
	吉田 明	公益社団法人土木学会建設技術研究委員会、大成建設(株)顧問	施工マネジメント		
	林 良嗣	名古屋大学大学院環境学研究科交通・都市国際研究センター長 教授	都市計画		
	柿谷 達雄	清水建設(株)専務執行役員土木事業本部長			
	桑原 泰秀	清水建設(株)東北支店副支店長			
	坂本 俊一	清水建設(株)土木事業本部土木技術本部企画部長			
	備考				



東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年6月2日

調査団名称	復興施工技術特定テーマ委員会 仙台市ヒアリング調査団					
主な調査項目	「がれき処理」と「土壌地下水浄化」について、報告書(第2回)の説明および仙台市の現状とニーズをヒアリング					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	<p>6月9日(木) 10時～ 仙台市</p> <p>上記日程において、仙台市の都市整備局および環境局を訪問し、土木学会にて作成した報告書を元に、具体的なニーズのヒアリングを行う。また、将来に向けた技術的要請への支援体制を説明する。 なお、仙台市都市整備局技術管理室長 同環境局震災廃棄物対策室 総括主幹にはアポイント済みである。</p>					
調査期間	平成23年6月9日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	坂本 俊一	清水建設株式会社 土木事業本部土木技術本部技術企画部長	土質・基礎			
連絡代表者	坂本 俊一	清水建設株式会社 土木事業本部土木技術本部技術企画部長	土質・基礎	<a href="mailto:shn.sakamoto@shimz.co.jp">shn.sakamoto@shimz.co.jp</a>		
会計責任者	佐藤 和郎	大成建設株式会社 環境本部土壌・環境事業部長	土壌汚染・廃棄物・処分場			
団員	久田 真 教授	東北大学大学院工学研究科 土木工学専攻 基盤構造材料学講座 建設材料学分野	建設材料学・コンクリート工学			
	中山 逸志	株式会社大林組 土木本部生産技術本部海洋土木技術部副部長	海洋土木			
	芳岡 良一	清水建設株式会社 ダム担当部長	ダム			
	高田 博充	清水建設株式会社 エンブリアリアンテ事業本部 土壌環境事業部 部長	土壌・地下水汚染浄化			
	氏家 正人	大成建設株式会社 環境本部 土壌・環境事業部 第二プロジェクト室長	土壌・地下水汚染浄化			
備考						

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年6月21日

調査団名称	復興施工技術特定テーマ委員会 仙台市環境局往訪 調査団					
主な調査項目	既にながれき処理を行っている(1次処理まで)仙台市の協力のもと、津波堆積土砂が盛土材料として利用可能であるかを把握するために室内品質(力学特性)試験を行う予定である。これについての仙台市への試験計画の説明及び了解後、現地での試料採取を行う。					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	6月22日(水) 宮城県仙台市 上記日程において、宮城県、仙台市環境局 遠藤総括主幹とがれきに含まれる土壌の品質試験および試験施工について打合せを行う。 打合せ後、遠藤総括主幹同行の下、蒲生・荒浜・井土地区にあるがれき仮置き場及び農地を訪問し、試料採取を行う。 ※先方とはアポイント済みである					
調査期間	平成23年6月22日 ~ 平成23年 6月 22日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	佐藤 和郎	大成建設株式会社 環境本部土壌・環境事業部長	土壌汚染・廃棄物・処分場			
連絡代表者	佐藤 和郎	大成建設株式会社 環境本部土壌・環境事業部長	土壌汚染・廃棄物・処分場	<a href="mailto:kazuro-s@ce.aisei.co.jp">kazuro-s@ce.aisei.co.jp</a>		
会計責任者	佐藤 和郎	大成建設株式会社 環境本部土壌・環境事業部長	土壌汚染・廃棄物・処分場			
団員	高田 博充	清水建設株式会社 エンジニアリング事業本部 土壌環境事業部 部長	土壌・地下水汚染浄化			
	中山 逸志	株式会社大林組 土木本部生産技術本部海洋土木技術部副部長	海洋土木			
	黒岩 正夫	株式会社大林組 技術本部 エンジニアリング本部環境技術第二部 副部長	土壌汚染、環境			
	芳岡 良一	清水建設株式会社 ダム担当部長	ダム			
備考						

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年7月11日

調査団名称	復興施工技術特定テーマ委員会 仙台市環境局往訪 調査団					
主な調査項目	既にながれき処理を行っている(1次処理まで)仙台市の協力のもと、市内3カ所の集積所からそれぞれからがれき分級土砂の試料(100kg程度/箇所)を採取し、盛土材料として利用可能であるかを把握するために室内品質(力学特性)試験を実施した。これについて仙台市への報告と今後予定している盛土試験計画書の説明を行うとともに、現地にて試験施工を行う行方場所(集積所 蒲生、荒浜、井土のいずれか)の選定確認を行う。					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	7月11日(月)宮城県仙台市 上記日程において、宮城県仙台市環境局 遠藤総括主幹と盛土試験について打ち合わせを実施する。打ち合わせ後、遠藤総括主幹立会いの下3カ所の集積所を訪問し、試験施工の場所の選定を行う。 ※先方とはアポイント済みである。					
調査期間	平成23年7月11日 ~ 平成23年 7月 11日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	吉田 明	大成建設株式会社 土木本部技術顧問	土木技術全般			
連絡代表者	佐藤 和郎	大成建設株式会社 環境本部土壌・環境事業部長	土壌汚染・廃棄物・処分場	<a href="mailto:kazuro-s@ce.taisei.co.jp">kazuro-s@ce.taisei.co.jp</a>		
会計責任者	尾崎 史治	公益社団法人 土木学会				
団員	高田 博充	清水建設株式会社 エンジニアリング事業本部 土壌環境事業部 部長	土壌・地下水汚染浄化			
	中山 逸志	株式会社大林組 土木本部生産技術本部海洋土木技術部副部長	海洋土木			
	高村 圭一	鉄建建設株式会社 エンジニアリング本部 副本部長 計画部長				
	芳岡 良一	清水建設株式会社 ダム担当部長	ダム			
	弘末 文紀	株式会社間組 技術・環境本部 環境部長				
備考						

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年7月19日

調査団名称	復興施工技術特定テーマ委員会 仙台市若林区井土地区処分場(2次仮置き場) 往訪 調査団					
主な調査項目	仙台市若林区井土地区処分場(2次仮置き場)に於いて、市街地から発生した津波堆積分級土砂を用いて実施予定(8月1日~8月4日)の試験盛土施工の事前打合せ。					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	7月20日(水)11:00~ 宮城県仙台市若林区井土地区処分場(2次仮置き場)に於いて現地打合せ実施。(仙台市とはアポイント済み)  (現地立会者) ・仙台市環境局:遠藤総括主幹他数名 ・仙台環境開発(株)数名 ・復興施工技術特定テーマ委員会6名 ・試験盛土施工業者(大林道路)数名					
調査期間	平成23年 7月20日 ~ 平成23年 7月20日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	佐藤 和郎	大成建設株式会社 環境本部土壌・環境事業部長	土壌汚染・廃棄物・処分場			
連絡代表者	佐藤 和郎	大成建設株式会社 環境本部土壌・環境事業部長	土壌汚染・廃棄物・処分場	<a href="mailto:kazuro-s@ce.aisei.co.jp">kazuro-s@ce.aisei.co.jp</a>		
会計責任者	佐藤 和郎	大成建設株式会社 環境本部土壌・環境事業部長	土壌汚染・廃棄物・処分場			
団員	中山 逸志	株式会社大林組 土木本部生産技術本部海洋土木技術部副部長	海洋土木			
	芳岡 良一	清水建設株式会社 ダム担当部長	ダム			
	緒方 明彦	株式会社熊谷組 土木設計部土工・開削グループ部長	土工			
	栗栖 基彰	鉄建建設株式会社 エンジニアリング本部土木技術部 基礎・地盤 CR	基礎・地盤			
	笠 博義	株式会社間組 技術・環境本部環境部 課長	環境			
備考						





東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年4月29日

調査団名称	徳島大学環境防災研究センター				
主な調査項目	津波痕跡高調査, 津波堆積物調査				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	5月4日 南三陸町及び気仙沼市周辺, 5月5日 宮古市周辺, 5月6日 大船渡市及び釜石市周辺				
調査期間	平成23年5月4日 ~ 平成23年5月6日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	中野 晋	徳島大学環境防災研究センター	海岸工学		
連絡代表者	中野 晋	徳島大学環境防災研究センター	海岸工学	<a href="mailto:nakano@ce.tokushima-u.ac.jp">nakano@ce.tokushima-u.ac.jp</a>	
会計責任者	中野 晋	徳島大学環境防災研究センター	海岸工学		
団員	村田 明広	徳島大学環境防災研究センター	地質学		
	西山 賢一	徳島大学環境防災研究センター	地質学		
	武藤 裕則	徳島大学環境防災研究センター	河川工学		
	蔣 景彩	徳島大学環境防災研究センター	地盤工学		
	宇野 宏司	神戸市立工業高等専門学校	海岸工学		
	高西 春二	パシフィックコンサルタンツ(株)	河川工学		
	備考				

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年6月6日

調査団名称	「我が国の最新技術を活用した耐災(防災・減災)統合システム」調査団(第三次総合調査団)				
主な調査項目	計測・警報などの情報通信技術、津波や構造物の解析・シミュレーション技術、空間情報処理技術、クルマの利用環境、ITS、パーソナルな情報デバイスなど耐災に向けたニーズ調査				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	宮城県、岩手県沿岸部および仙台市内、関東地域など				
調査期間	平成23年 6月 9日 ~ 平成23年 6月 11日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	川嶋弘尚	慶應義塾大学	システム工学		
連絡代表者	牧野浩志	東京大学	国土計画	<a href="mailto:makino@iis.u-tokyo.ac.jp">makino@iis.u-tokyo.ac.jp</a>	
会計責任者	松本修一	慶應義塾大学	交通計画		
団員	山田晴利	東京大学	国土計画、ITS		
	全 炳東	千葉大学	電気工学		
	白鳥則郎	東北大学	情報工学		
	太田 純	慶應義塾大学	電気工学		
	植原啓介	慶應義塾大学	情報工学		
	上條俊介	東京大学	情報工学		
	柴崎亮介	東京大学	情報工学		
	浜岡秀勝	秋田大学	交通工学		
	吉田 正	スマートインフラ総合研究所	社会基盤、ITS		
	池田朋広	三菱総合研究所	社会基盤		
	鳩山紀一郎	東京大学	交通工学		
備考					

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表(案)

平成23年 6月13日

調査団名称	復興創意形成特定テーマ委員会					
主な調査項目	<p>本委員会は、「復興まちづくり計画は地域の住民、事業者の意向を十分に反映する必要がある」との認識から、計画策定過程における適切な合意形成の方法ならびに、これを円滑に推進する専門家の派遣等の施策について提案を行っている。</p> <p>本調査団では、本委員会の提言内容(復興まちづくり創意形成ガイドライン案(骨子))について、復興まちづくりを実施する市町村の実務担当者及び復興まちづくりを支援する東北地方整備局及び岩手県、宮城県を対象に、ヒアリング調査を実施する。</p> <p>調査項目:(1)復興まちづくりに向けた現状について  ①復興計画を策定する組織体制  ②復興計画の策定スケジュール  ③復興計画の策定を進める上での課題  (2)復興計画の合意形成について  (3)復興まちづくり創意形成ガイドライン案(骨子)について</p>					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	<p>調査方法:復興計画を策定している市町村等の事務担当者へのヒアリング  岩手方面、宮城方面の2班編成でヒアリングを実施</p> <p>調査対象:国 :東北地方整備局  県 :岩手県、宮城県  市町村:(岩手県)宮古市、大船渡市、陸前高田市  (宮城県)石巻市、名取市、南三陸町</p> <p>調査スケジュール:6月16日(木):(岩手方面)大船渡市、陸前高田市、(宮城方面)南三陸町、宮城県  6月17日(金):(岩手方面)宮古市、岩手県、(宮城方面)東北地方整備局、石巻市、名取市</p>					
調査期間	平成23年 6月 16日 ~ 平成23年 6月 17日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	野崎 秀則	(株)オリエンタルコンサルタンツ				
連絡代表者	高橋 元太	(社)建設コンサルタンツ協会		<a href="mailto:takahashi@icca.or.jp">takahashi@icca.or.jp</a>		
会計責任者	高橋 元太	(社)建設コンサルタンツ協会				
団員	上野 俊司	国際航業(株)				
	横山 哲	(株)ドーコン				
	大島 明	国際航業(株)				
	長谷川 潤	(株)千代田コンサルタント				
	松下 佳広	(株)国際開発コンサルタンツ				
	中埜 智親	(株)オリエンタルコンサルタンツ				
	高橋 元太	(社)建設コンサルタンツ協会				
	平井 明菜	(株)オリエンタルコンサルタンツ				
	備考					

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年11月 9日

調査団名称	復興創意形成特定テーマ委員会				
主な調査項目	<p>本委員会は、復興まちづくりの計画策定過程における適切な合意形成の方法並びに、これを円滑に推進する専門家のあり方等について検討を進めると共に、ヒアリングで伺った復興まちづくりの現状及び課題等について整理し、『復興まちづくり創意形成ガイドライン(中間報告)』をとりまとめている。</p> <p>本調査団では、その後の復興計画の進捗状況や市民との合意形成に向けた取り組み状況等について内容の充実を図るべく、6月にヒアリングを実施した6市町の実務担当者を対象に、追加ヒアリング調査を実施する。</p> <p>調査項目：(1)復興まちづくりの現状について  ①復興計画を策定する組織体制  ②復興計画の策定スケジュール  ③復興計画の策定を進める上での課題  ④復興計画の創意形成の課題  ⑤創意形成にかかる人材  ⑥今後の中長期的な課題や展望  (2)『復興まちづくり創意形成ガイドライン(中間報告)』の内容について</p>				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	<p>調査方法：6月にヒアリングを実施した自治体を対象とした追加ヒアリング(フォローアップ)</p> <p>調査対象：(岩手県)宮古市、(大船渡市、陸前高田市※)  (宮城県)石巻市、名取市、南三陸町</p> <p>※大船渡市及び陸前高田市は、12月中の実施を目途に調整中</p> <p>調査スケジュール：11月14日(月)：(宮城方面)石巻市  11月17日(木)：(岩手方面)宮古市  11月25日(金)：(宮城方面)名取市、南三陸町</p>				
調査期間	平成23年11月14日 ~ 平成23年11月25日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	野崎 秀則	(株)オリエンタルコンサルタンツ			
連絡代表者	高橋 元太	(社)建設コンサルタンツ協会		<a href="mailto:takahashi@icca.or.jp">takahashi@icca.or.jp</a>	
会計責任者	高橋 元太	(社)建設コンサルタンツ協会			
団員	上野 俊司	国際航業(株)			
	大島 明	国際航業(株)			
	大曾根 正一	サンコーコンサルタント(株)			
	菊竹 直起	大日本コンサルタント(株)			
	中埜 智親	(株)オリエンタルコンサルタンツ			
	長谷川 潤	(株)千代田コンサルタント			
	平井 明菜	(株)オリエンタルコンサルタンツ			
	牧野 幸子	(株)ケー・シー・エス			
	松下 佳広	(株)国際開発コンサルタンツ			
	高橋 元太	(社)建設コンサルタンツ協会			
備考					

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成24年2月16日

調査団名称	復興創形成特定テーマ委員会				
主な調査項目	<p>本委員会は、復興まちづくりの計画策定過程における適切な合意形成の方法並びに、これを円滑に推進する専門家のあり方等について検討を進めると共に、ヒアリングで伺った復興まちづくりの現状及び課題等について整理し、『復興まちづくり創形成ガイドライン(中間報告)』をとりまとめている。</p> <p>本調査団では、その後の復興計画の進捗状況や市民との合意形成に向けた取り組み状況等について内容の充実を図るべく、6月にヒアリングを実施した6市町の実務担当者を対象に、追加ヒアリング調査を実施する。</p> <p>調査項目：(1)復興まちづくりの現状について          ①復興計画を策定する組織体制          ②復興計画の策定スケジュール          ③復興計画の策定を進める上での課題          ④復興計画の創形成の課題          ⑤創形成にかかる人材          ⑥今後の中長期的な課題や展望          (2)『復興まちづくり創形成ガイドライン(中間報告)』の内容について</p>				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	<p>調査方法：6月にヒアリングを実施した自治体を対象とした追加ヒアリング(フォローアップ)</p> <p>調査対象：(岩手県)宮古市、大船渡市、陸前高田市          (宮城県)石巻市、名取市、南三陸町</p> <p>調査スケジュール： 2月22日(水)：(岩手方面)大船渡市          2月23日(木)：(岩手方面)陸前高田市          ※宮古市、石巻市、名取市、南三陸町の4市町については、平成23年11月14日(月)～11月25日(金)に実施済み</p>				
調査期間	平成23年11月14日 ～ 平成24年2月22日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	野崎 秀則	(株)オリエンタルコンサルタンツ			
連絡代表者	高橋 元太	(社)建設コンサルタンツ協会		<a href="mailto:takahashi@icca.or.jp">takahashi@icca.or.jp</a>	
会計責任者	高橋 元太	(社)建設コンサルタンツ協会			
団員	上野 俊司	国際航業(株)			
	大島 明	国際航業(株)			
	大曾根 正一	サンコーコンサルタント(株)			
	菊竹 直起	大日本コンサルタント(株)			
	中埜 智親	(株)オリエンタルコンサルタンツ			
	長谷川 潤	(株)千代田コンサルタント			
	平井 明菜	(株)オリエンタルコンサルタンツ			
	牧野 幸子	(株)ケー・シー・エス			
	松下 佳広	(株)国際開発コンサルタンツ			
	高橋 元太	(社)建設コンサルタンツ協会			
	備考				

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年6月22日

調査団名称	千葉県内下水道関連施設被害調査団				
主な調査項目	千葉県内における下水道施設の被害に関して調査する。				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	千葉県内の下水道被害について、関東地方整備局、千葉県、および大きな被害を受けた浦安市・習志野市の担当者にヒアリングを行う。また、被害の現場を視察する。				
調査期間	平成23年6月 30日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	佐藤弘泰	東京大学大学院新領域創成科学研究科	環境衛生工学	<a href="mailto:hirovasu@k.u-tokyo.ac.jp">hirovasu@k.u-tokyo.ac.jp</a>	
連絡代表者	同上				
会計責任者	同上				
団員	上村繁樹	木更津工業高等専門学校	嫌気性処理		
	大久保努	木更津工業高等専門学校	水環境工学		
	鎌田素之	関東学院大学	環境リスク評価		
	出口浩	東京理科大学	生物処理		
	大木宣章	日本大学生産工学部	悪臭除去		
	高橋岩仁	日本大学生産工学部	下水臭気		
	瀧和夫	千葉工業大学	水環境・底質		
	村上和仁	千葉工業大学	バイオエコエンジニアリング		
	備考				





東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年 7月8日

調査団名称	フィリピン土木学会 東北太平洋沖地震災害調査					
主な調査項目	土木学会が協力協定を締結する、PICE(フィリピン土木学会)の津波調査団による現地調査。 三陸沿岸～仙南エリアの沿岸部の構造物を対象とする調査を実施。					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	7/7:来日 7/8:北上移動、釜石、大船渡、調査 7/9:陸前高田、気仙沼、南三陸、石巻、女川調査 7/10:仙台市、名取、岩沼、亘理調査 7/11:東京都防災センター訪問、土木学会訪問、帰国					
調査期間	平成23年7月7日 ~ 平成23年7月11日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	伊東 淳	早稲田大学セーバース	地震工学			
連絡代表者	伊東 淳	早稲田大学セーバース	地震工学	<a href="mailto:itohjun@waseda-se.jp">itohjun@waseda-se.jp</a>		
会計責任者	伊東 淳	早稲田大学セーバース	地震工学			
団員	Ronald S. Ison	PICE-Principal/Structural Engineering - R.S. Ison and	地震工学			
	Daniilo C. Terante	PICE-De La Salle University, Manila	地震工学			
	Adam C. Abinales	PICE-Vice Presidents for Operations and Engineering - PDCA Construction Inc.	地震工学			
	Miriam L. Tamayo	PICE-TandeM Engineering Consultancy	地震工学			
	Emilio M. Morales	PICE-EM2Partners and Co.	地震工学			
	Carlos M. Villaraza	PICE-Geoseed Structural Earthquake Engineering Consultants	地震工学			
	備考					

## 東日本大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年 7月 11日

調査団名称	支部連合調査団				
主な調査項目	1. 安全な国土の再デザイン: 考慮すべき要素と土地利用ーインフラのシステムイメージ 2. 想定される津波被害 3. 河川の対応 4. 構造物災害: 橋、高架橋、道路、鉄道 5. 地盤災害: 法面崩壊、地盤液状化、道路、鉄道、港、空港、住宅地 6. 交通ネットワーク、産業GRP/居住QOL水準の低下とその対応戦略 7. 震災に伴う交通路閉鎖と帰宅困難、救急活動困難、物資補給困難、とるべき交通行動 8. 震災/津波後の瓦礫、廃棄物、マテリアルストック/フローの推計 9. 都市直下型になると、火災被害がとてつもなく大きくなる可能性 10. これらをつなげた結果、どのような国土利用を実現すべきか? その対応方策は? (交通路の構造物補強・付け替え・最低限守るべき施設/交通路の評価選定、土地利用側の変更(高台移転、安全な高台/低地2地域居住の具体的方法))				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	7/19(火) 土木学会 東北支部 7/20(水) 東北地方整備局 気仙沼市役所 7/21(木) 陸前高田市復興対策局 大船渡市役所 7/22(金) 岩沼市役所				
調査期間	平成23年 7月 19日 ~ 平成23年 7月 22日				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	林 良嗣	名古屋大学	都市計画		
連絡代表者	大西 博文	土木学会	道路施設	<a href="mailto:ohnishi@jsce.or.jp">ohnishi@jsce.or.jp</a>	
会計責任者	尾崎 宏喜	土木学会			
副団長	甲村 謙友	筑波大学	河川学		
関東支部	杉山 太宏	東海大学	地盤		
	田地 陽一	清水建設	地盤		
中部支部	小高 猛司	名城大学	地盤工学		
	山本 俊行	名古屋大学	交通計画		
	谷川 寛樹	名古屋大学	環境システム工学		
	庄 建治朗	名古屋工業大学	水文学		
関西支部	大嶋 勝彦	近畿地方整備局			
	川村 幸男	大阪市建設局	行政		
	木俣 順	中央復建コンサルタンツ株式会社	計画		
	佐野 郁雄	大阪産業大学			
四国支部	大年 邦雄	高知大学	流域環境工学		
	中廣 政之	四国電力(株)	電力施設		
	下登 新一	西日本高速道路(株)四国支社	道路施設		
	那須 清吾	高知工科大学			
北海道支部	木村克俊	室蘭工業大学	海岸工学		
中国支部	一井康二	広島大学	地盤工学		
西部支部	塚原 健一	九州大学	地域計画 土木計画		
	梶田 幸秀	九州大学	耐震・構造		
備考					



東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成23年 8月20日

調査団名称	コンクリート委員会「津波による橋梁構造物に及ぼす波力の評価に関する調査研究委員会」調査団					
主な調査項目	津波によって流失した橋梁の被害の程度, 橋梁諸元を現地にて調査する					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	8月23日:野田村, 田野畑村 8月24日:田老町 8月25日:宮古市 8月30日:山田町 8月31日:大槌町 9月1日:平田駅周辺 9月2日:陸前高田市 9月13日:気仙沼市 9月14日:大船渡市 9月15日:歌津地区 9月16日:志津川 10月18日:陸前戸倉 10月19日:北上川河口 10月20日:女川市 10月21日:石巻市					
調査期間	平成23年 8月22日 ~ 平成23年10月21日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	細田暁	横浜国立大学	コンクリート工学			
連絡代表者	田中泰司	長岡技術科学大学	コンクリート工学	<a href="mailto:yasuxi@vos.nagaokaut.ac.jp">yasuxi@vos.nagaokaut.ac.jp</a>		
会計責任者	渡辺健	鉄道総合技術研究所	コンクリート工学			
団員	林和彦	横浜国立大学	コンクリート工学			
	千々和伸浩	東京大学	コンクリート工学			
	山口貴幸	長岡技術科学大学	コンクリート工学			
	高田晋	長岡技術科学大学	地盤工学			
備考						

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成24年2月22日

調査団名称	原子力安全土木技術特定テーマ委員会調査団				
主な調査項目	女川原子力発電所構内の被災事例(1号機重油タンクの倒壊など) 特に、耐震安全上重要な土木設備(取水口, 取水路, 海水ポンプ室など)および、一般の土木設備(構内道路, 港湾設備など)の被災状況				
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	主な調査地点: 女川原子力発電所, 女川町, 石巻(日和山) 概略工程: ・8:00 仙台駅を出発 ・8:00→9:30 移動(仙台→石巻) ・9:30→10:00 石巻(日和山)視察 ・10:00→10:30 移動(石巻→女川) ・10:30→11:00 女川町視察 ・11:00→11:30 移動(女川町→女川原発) ・11:30→12:30 女川原子力発電所の被災状況の概要説明(PPTなど) ・12:30→13:30 昼食, 着替え ・13:30→14:30 地震, 津波および土木設備の地震被害状況について紹介 ・14:30→17:00 土木設備実視(上盤法肩→重油タンク→取水口, 海水ポンプ室) ・17:00→19:00 移動(女川原発→仙台駅) ・19:00 仙台駅解散				
調査期間	平成23年11月14日 ~ 平成23年11月14日(前夜仙台泊)				
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号
代表者	吉田郁政	東京都立大学	信頼性工学		
連絡代表者	松尾豊史	電力中央研究所	コンクリート工学	matsuo@criepi.denken.or.jp	
会計責任者	松尾豊史	電力中央研究所	コンクリート工学		
団員	青柳恭平	電力中央研究所	地質学		
	秋山充良	早稲田大学	コンクリート工学		
	浅野彰洋	四国電力(株)	原子力土木		
	内海 博	東北電力(株)	原子力土木		
	大坪武弘	九州電力(株)	原子力土木		
	木原直人	電力中央研究所	津波工学		
	関島正浩	電源開発(株)	原子力土木		
	村野清一郎	原子力発電環境整備機構	原子力土木		
	東畑郁生	東京大学	地盤工学		
	松山 昌史	電力中央研究所	津波工学		
備考	携帯電話を把握していない方については、代表などの連絡先を入れた。				

東北関東大震災 土木学会災害緊急調査団 登録表

平成24年1月26日

調査団名称	複合構造委員会東日本大震災被害調査小委員会調査団					
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路、鉄道、港湾構造物のうち、複合構造物を中心とした被害・現状調査を行い、複合構造物の被害の特徴を把握し、鋼構造やコンクリート構造との被害状況に違いがあるかどうか確認する。</li> <li>・被害が出ていない複合構造物も調査の対象とする。</li> <li>・鉄道高架橋柱の鋼板巻き補強のように複合構造化による補強効果について調査する。</li> <li>・鋼とコンクリートの境界部(接合部)の損傷状況の調査方法について検討する。</li> <li>・委員会で実施予定の地震応答解析の解析対象構造物を選定する。</li> </ul>					
主な調査地点・工程 (いつどこで調査を行うかを記載してください)	<p>2/2(木)午後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北新幹線仙台駅周辺の複合構造物(単純合成鋼桁橋) (宮城野架道橋、小田原高架橋、花京院架道橋、清水小路橋梁)</li> <li>・荒巻本沢地区橋梁(波形鋼板ウェブPC橋)(仙山線北山駅付近)</li> </ul> <p>2/3(金)午前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北新幹線南長町高架橋、東北本線長町高架橋(東北本線長町駅付近)</li> <li>・仙台東部道路(東P31、高砂大橋、東P52~P58)(仙台東IC~仙台港北IC)</li> </ul> <p>2/3(金)午後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新江合橋(連続合成鋼桁橋)(古川IC付近)</li> <li>・栗原中央橋(波形鋼板ウェブPC橋)(築館IC付近)</li> </ul>					
調査期間	平成24年 2月 2日 ~ 平成24年 2月 3日					
調査団構成	氏名	所属	専門分野	E-mail	携帯番号	
代表者	杉浦 邦征	京都大学	鋼構造、複合構造			
連絡代表者	滝本 和志	清水建設	RC構造、複合構造	<a href="mailto:k.takimoto@shimz.co.jp">k.takimoto@shimz.co.jp</a>	090-8318-6071	
会計責任者	滝本 和志	清水建設	RC構造、複合構造			
団員	中島 章典	宇都宮大学	鋼構造、複合構造			
	牧 剛史	埼玉大学	RC構造、耐震工学			
	山田 真幸	東北大学	構造工学、耐震工学			
	渡辺 忠朋	北武コンサルタント	RC構造、複合構造			
	伊藤 壮一	アイエス構造技術	鋼構造、複合構造			
	備考					